

基		本		計		画				
事項		記入欄						備考		
計画の区分		研究科の専攻の設置								
フリガナ 設置者		コリツタ ^レ イ ^ク ノホウシンキイタク ^レ イ ^ク 国立大学法人埼玉大学								
フリガナ 大学の名称		キイタク ^レ イ ^ク ノホウ ^レ ケン 埼玉大学大学院								
大学本部の位置		埼玉県さいたま市桜区下大久保255								
大学の目的		国立大学法人埼玉大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。								
新設研究科等の目的		DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン：多様性・公平性・包摂性）に関する高度かつ幅広い知識を基盤とし、DEIの視点から具体的な課題を発見・分析するとともに、リーダーシップやマネジメント能力を発揮しながら他者との協働をはかり、実践的な解決策を創出できる人材を育成すること。								
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 教養学部教養学科 14条特例の実施
	人文社会科学研究科 ダイバーシティ科学専攻	年	人	年次人	人	修士（ダイバーシティ科学）	社会学・社会福祉学関係	年月第年次	埼玉県さいたま市桜区下大久保255	
	計	2	10	—	20	20	令和8年4月第1年次			
同一設置者内における変更状況 （定員の移行、名称の変更等）		教養学部 教養学科[定員増] （ 40 ）（令和8年4月） 教育学部 学校教育教員養成課程[定員減]（△60）（令和8年4月） 工学部 機械工学・システムデザイン学科[定員増] （ 7 ）（令和8年4月） 電気電子物理工学科[定員増] （ 7 ）（令和8年4月） 情報工学科[定員増] （ 6 ）（令和8年4月） <u>人文社会科学研究科</u> <u>文化環境専攻（M）「定員減」</u> <u>（△3）（令和8年4月）</u> <u>国際日本アジア専攻（M）「定員減」</u> <u>（△4）（令和8年4月）</u> <u>経済経営専攻（M）「定員減」</u> <u>（△3）（令和8年4月）</u>								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数		
	人文社会科学研究科 ダイバーシティ科学専攻	講義	演習	実験・実習	計	30単位				
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 （助手を除く）		
		教授	准教授	講師	助教	計				
新設分	人文社会科学研究科 ダイバーシティ科学専攻（修士課程）	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	0人 (0)	6人 (6)	0人 (0)	7人 (7)		
	計	3人 (3)	3人 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	— (—)		
既設	人文社会科学研究科 文化環境専攻（博士前期課程）	14 (15)	18 (14)	0 (0)	0 (0)	32 (29)	0 (0)	11 (9)		
	人文社会科学研究科 国際日本アジア専攻（博士前期課程）	20 (20)	14 (13)	2 (2)	0 (0)	36 (35)	0 (0)	18 (13)		
	人文社会科学研究科 経済経営専攻（博士前期課程）	11 (11)	18 (18)	3 (3)	1 (1)	33 (33)	0 (0)	8 (8)		
	人文社会科学研究科 日本アジア文化専攻（博士後期課程）	21 (21)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	30 (30)	0 (0)	0 (0)		
	人文社会科学研究科 経済経営専攻（博士後期課程）	21 (21)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	34 (34)	0 (0)	1 (1)		
	教育学研究科 教職実践専攻（専門職学位課程）	12 (12)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	66 (64)		
施設	理工学研究科 生命科学専攻（博士前期課程）	12 (11)	9 (9)	1 (1)	10 (10)	32 (31)	0 (0)	18 (18)		
	理工学研究科 物質科学専攻（博士前期課程）	20 (21)	19 (19)	4 (4)	16 (16)	59 (60)	0 (0)	20 (20)		
	理工学研究科 数理電子情報専攻（博士前期課程）	28 (26)	26 (26)	0 (0)	16 (16)	70 (68)	0 (0)	17 (17)		

分	理工学研究科 機械科学専攻（博士前期課程）		10 (13)	11 (11)	0 (0)	7 (7)	28 (31)	0 (0)	10 (10)			
	理工学研究科 環境社会基盤専攻（博士前期課程）		11 (10)	10 (10)	0 (0)	7 (7)	28 (27)	0 (0)	9 (9)			
	理工学研究科 理工学専攻（博士後期課程）		84 (84)	73 (73)	0 (0)	12 (12)	169 (169)	0 (0)	59 (59)			
	計		138 (139)	131 (126)	10 (10)	57 (57)	336 (332)	0 (0)	－ (－)			
	合 計		141 (142)	134 (129)	10 (10)	57 (57)	342 (338)	0 (0)	－ (－)			
職 種			専 属			その他		計				
事 務 職 員			171 (171)			0 (0)		171 (171)				
技 術 職 員			33 (34)			0 (0)		33 (34)				
図 書 館 職 員			7 (7)			0 (0)		7 (7)				
そ の 他 の 職 員			1 (1)			0 (0)		1 (1)				
指 導 補 助 者			0 (0)			0 (0)		0 (0)				
計			212 (213)			0 (0)		212 (213)				
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		263,040 m ²		0 m ²		0 m ²		263,040 m ²			
	そ の 他		52,219 m ²		0 m ²		0 m ²		52,219 m ²			
	合 計		315,259 m ²		0 m ²		0 m ²		315,259 m ²			
校 舎			専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計			
			140,745 m ² (140,745 m ²)		0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		140,745 m ² (140,745 m ²)			
講義室等・新設研究科等の専任教員研究室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の専任教員研究室			
			92室		240室		100室		6室			
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 標本			
			冊		種		点		点			
	人文社会科学研究所 ダイバーシティ科学 専攻		900,000 [275,000] (893,100 [272,900])		19,000 [18,000] (18,500 [17,850])		22,400 [5,600] (22,380 [5,585])		9,700 [9,680] (9,670 [9,665])		5,633 (5,368)	0 (0)
	計		900,000 [275,000] (893,100 [272,900])		19,000 [18,000] (18,500 [17,850])		22,400 [5,600] (22,380 [5,585])		9,700 [9,680] (9,670 [9,665])		5,633 (5,368)	0 (0)
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	国費による		
		教員1人当たり研究費等			—	—	—	—	—			
		共同研究費等			—	—	—	—	—			
		図書購入費		—	—	—	—	—	—			
		設備購入費		—	—	—	—	—	—			
	学生1人当たり 納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次				
	学生納付金以外の維持方法の概要			—								
大 学 等 の 名 称 埼玉大学												
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地			
教養学部		年	人	年次 人	人		倍					
教養学科		4	160	3年次 30	700	学士（教養）	1.11 《1.06》	昭和40	埼玉県さいたま市 桜区下大久保255			
経済学部							1.12 《1.06》					
経済学科（昼間コース）		4	280	3年次 10	1,140	学士（経済学）	1.14 《1.07》	平成27				
経済学科（夜間主コース）		4	15	—	60	学士（経済学）	1.08 《1.08》	平成27				
教育学部							1.06 《1.03》					
学校教育教員養成課程		4	360	—	1,440	学士（教育学）	1.06 《1.03》	平成11				
養護教諭養成課程		4	20	—	80	学士（教育学）	1.07 《1.03》	平成18				

既設大学等の状況	理学部						1.08		
	数学科	4	40	—	160	学士（理学）	《1.04》	1.20	平成7
	物理学科	4	40	—	160	学士（理学）	《1.11》	1.01	平成7
	基礎化学科	4	50	—	200	学士（理学）	《0.98》	1.04	平成7
	分子生物学科	4	40	—	160	学士（理学）	《1.01》	1.08	平成7
	生体制御学科	4	40	—	160	学士（理学）	《1.06》	1.10	平成7
	工学部						1.07		
	機械工学・システムデザイン学科	4	110	—	440	学士（工学）	《1.02》	1.14	平成30
	電気電子物理工学科	4	110	—	440	学士（工学）	《1.06》	1.07	平成30
	情報工学科	4	80	—	320	学士（工学）	《1.00》	1.06	平成30
	応用化学科	4	90	—	360	学士（工学）	《1.02》	1.05	平成30
	環境社会デザイン学科	4	100	—	400	学士（工学）	《0.99》	1.04	平成30
	人文社会科学研究科（博士前期課程）						1.16		
	文化環境専攻	2	20	—	40	修士（学術）	1.35		平成27
	国際日本アジア専攻	2	38	—	76	修士（学術）	1.09		平成27
	経済経営専攻	2	22	—	44	修士（経済学）	1.11		平成27
	（博士後期課程）						1.70		
	日本・アジア文化専攻	3	4	—	12	博士（学術）	2.16		平成27
	経済経営専攻	3	12	—	36	博士（経済学）	1.55		平成27
						博士（経営学）			
	教育学研究科（専門職学位課程）						0.79		
	教職実践専攻	2	52	—	104	教職修士（専門職）	0.79		令和3
	理工学研究科（博士前期課程）						1.19		
	生命科学専攻	2	55	—	110	修士（理学）	1.11		令和4
	物質科学専攻	2	114	—	228	修士（理学）	1.13		令和4
						修士（工学）			
	数理電子情報専攻	2	142	—	284	修士（理学）	1.24		令和4
						修士（工学）			
	機械科学専攻	2	70	—	140	修士（工学）	1.20		令和4
	環境社会基盤専攻	2	55	—	110	修士（工学）	1.26		令和4
	（博士後期課程）						1.04		
	理工学専攻	3	56	—	168	博士（学術）	1.04		平成18
						博士（理学）			
					博士（工学）				
附属施設の概要		名称：教育学部附属幼稚園 目的：附属学校園の基本的な社会的使命（教育の研究と実践・実証、学生の実習並びに研究の指導、地方教育への協力と指導）を達成することを重視し、かつ地域のモデル校としての業務を推進することを目的とする。 所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤8-13-1 設置年：昭和26年4月 規模等：土地 4,198㎡ 建物 666㎡							
		名称：教育学部附属小学校 目的：附属学校園の基本的な社会的使命（教育の研究と実践・実証、学生の実習並びに研究の指導、地方教育への協力と指導）を達成することを重視し、かつ地域のモデル校としての業務を推進することを目的とする。 所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-9-44 設置年：昭和24年5月 規模等：土地 19,553㎡ 建物 7,243㎡							
		名称：教育学部附属中学校 目的：附属学校園の基本的な社会的使命（教育の研究と実践・実証、学生の実習並びに研究の指導、地方教育への協力と指導）を達成することを重視し、かつ地域のモデル校としての業務を推進することを目的とする。 所在地：埼玉県さいたま市南区別所4-2-5 設置年：昭和24年5月 規模等：土地 33,399㎡ 建物 7,064㎡							

名 称：教育学部附属特別支援学校 目 的：附属学校園の基本的な社会的使命（教育の研究と実践・実証、学生の実習並びに研究の指導、地方教育への協力と指導）を達成することを重視し、かつ地域のモデル校としての業務を推進することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市北区日進町2-480 設 置 年：平成19年4月 規 模 等：土地 14,683㎡ 建物 3,408㎡	
名 称：教育学部附属教育実践総合センター 目 的：教育の臨床の学の基本理念に基づき、学内外の関係諸機関との連携のもとに教育実践に関する理論的かつ実際的な研究及び教育を行い、教員養成及び教員研修に資するとともに、子どもたちの学びの場の創造とその成長をめぐる問題の解決に寄与することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-9-44 設 置 年：平成13年4月 規 模 等：土地 19,533㎡ 建物 532㎡	
名 称：教育学部附属特別支援教育臨床研究センター 目 的：特別支援教育の臨床の学の基本理念に基づき、学内外の関係諸機関との連携のもとに教育実践に関する研究及び教育を行い、特別支援教育の臨床と研究に資するとともに、家庭、学校及び地域社会と協力し、障害のある幼児児童生徒の成長と発達をめぐる問題の解決に寄与することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市北区日進町2-480 設 置 年：平成28年4月 規 模 等：土地 14,683㎡ 建物 351㎡	
名 称：教育学部附属こどもの育ち応援センター 目 的：乳幼児教育及び幼稚園教育の基本理念に基づき、学内外の関係諸機関との連携のもとに、乳幼児の育ちに関わる保護者及び保育・教育者に対する情報提供及び相談支援を行い、乳幼児のウェルビーイングの保障に寄与することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市浦和区常盤8-13-1 埼玉大学教育学部附属幼稚園内 設 置 年：令和6年4月 規 模 等：—	
名 称：教育機構基盤教育研究センター 目 的：全学的な教育に係る事項の企画案の作成及び決定された企画の実施を行うことを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成25年10月 規 模 等：—	
名 称：教育機構英語教育開発センター 目 的：埼玉大学における英語教育の質の向上を図るため、英語教育に関する企画・立案を行い、実施することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成24年4月 規 模 等：—	
名 称：教育機構日本語教育センター 目 的：埼玉大学における学生の日本語力の向上を図るため、質の高い教育を提供することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成24年4月 規 模 等：—	
名 称：教育機構教員養成支援センター 目 的：埼玉大学における教員養成教育の質の向上を図り、地域との連携を踏まえ、多様な教育ニーズに的確に対応した教職人材を育成し、地域社会に貢献できる教員の養成に資することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：令和4年4月 規 模 等：—	
名 称：教育機構アドミッションセンター 目 的：アドミッション・ポリシーに応じた入学選抜を実現するための具体的方策を企画・立案し、円滑な入学選抜の実施を図ることを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成24年4月 規 模 等：—	
名 称：教育機構キャリアセンター 目 的：埼玉大学における学生のキャリア形成及び就職活動を総合的に支援するための全学組織として、企業、自治体等地域社会との連携を推進し、学生の主体的なキャリア形成の醸成を図ることを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：令和4年4月 規 模 等：—	
名 称：教育機構保健センター 目 的：学生及び教職員の保健管理に関する業務を行うことを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成24年4月 規 模 等：土地 263,040㎡ 建物 424㎡	

名 称：研究機構オープンイノベーションセンター 目 的：企業等の法人、地方公共団体等公的機関、他大学等との共同研究及び研究交流を推進するとともに、埼玉大学における知的財産の創出、取得及び管理並びに技術移転の促進を図り、地域の企業等における技術革新、生産革新、経営革新、事業革新、情報革新、組織革新等のオープンイノベーションに対して中核機関として貢献することにより、埼玉大学の教育研究の進展に寄与するとともに地域社会の産業、文化、福祉及び教育の向上に資することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成24年4月 規 模 等：土地 263,040㎡ 建物 1,140㎡	
名 称：研究機構先端産業国際ラボラトリー 目 的：埼玉大学と地域企業等の法人、他大学・研究機関、地方公共団体等公的機関、金融機関などとの連携による先端産業分野の研究開発、起業、創出等及び共創ネットワーク形成を推進し、並びに文理融合の連携による国際的な産業技術動向の把握及び研究開発の推進を図り、イノベーション創出及び地域社会への貢献を目指すことを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成28年4月 規 模 等：—	
名 称：研究機構科学分析支援センター 目 的：生命科学分析、機器分析及び環境分析に関わる各分野が有機的な連携を保ちつつ、埼玉大学内における教育・研究のための共同利用を支援すると共に、科学分析技術の研究・開発を行うことを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：昭和55年4月 規 模 等：—	
名 称：研究機構総合技術支援センター 目 的：埼玉大学の各部局等の要請に応え、埼玉大学における教育・研究・大学運営の充実・高度化及び教育・研究活動に係る基盤の整備・強化を専門的・技術的に支援し、埼玉大学の目的・目標の達成に資することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成24年7月 規 模 等：—	
名 称：研究機構リサーチ・アドミニストレーターオフィス 目 的：埼玉大学における研究推進体制・機能の充実強化及び研究者の研究活動の支援強化を目指すことを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成26年1月 規 模 等：—	
名 称：研究機構戦略研究センター 目 的：埼玉大学における戦略的研究を推進し、その成果を学術・科学技術・社会等へ波及することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：令和4年4月 規 模 等：—	
名 称：研究機構社会変革研究センター 目 的：埼玉大学が有する多様な研究シーズと地球規模の課題や地域が抱える課題のニーズが合致する分野における基礎から応用までの研究開発を推進し、その成果を融合・発展させるとともに新たな研究シーズを創出するイノベーションの好循環を生み出すことにより、社会課題解決に向かい協働する地域連携拠点を構築し、研究成果の社会実装や地域産業の活性化につなげ、地域の中核大学として社会的要請に応えることを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：令和5年1月 規 模 等：—	
名 称：情報メディア基盤センター 目 的：埼玉大学における全学的な情報基盤の整備・運用及び情報基盤に係る研究開発を行うことを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：平成16年10月 規 模 等：—	
名 称：ダイバーシティ推進センター 目 的：埼玉大学の構成員が有する多様な個性及び価値観を尊重し、その多様性を最大限に活かした教育研究を推進するとともに、それらの成果の社会還元を図ることにより、地域の中核拠点として地域全体のダイバーシティ推進を牽引することを目的とする。 所 在 地：埼玉県さいたま市桜区下大久保255 設 置 年：令和4年4月 規 模 等：—	

(注)

- 1 共同教育課程の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設研究科等の目的」、「新設研究科等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「既設分」については、共同教育課程に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学院の研究科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」、及び「図書・設備」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」、「図書・設備」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人埼玉大学 設置申請に関わる組織の移行表

令和7年度

入学
定員

編入学
定員

収容
定員

令和8年度

入学
定員

編入学
定員

収容
定員

変更の事由

埼玉大学			
教養学部	3年次		
教養学科	160	30	700
経済学部	3年次		
経済学科(昼間コース)	280	10	1,140
経済学科(夜間主コース)	15	-	60
教育学部			
学校教育教員養成課程	360	-	1,440
養護教諭養成課程	20	-	80
理学部			
数学科	40	-	160
物理学科	40	-	160
基礎化学科	50	-	200
分子生物学科	40	-	160
生体制御学科	40	-	160
工学部			
機械工学・システムデザイン学科	110	-	440
電気電子物理工学科	110	-	440
情報工学科	80	-	320
応用化学科	90	-	360
環境社会デザイン学科	100	-	400
計	1,535	40	6,220
埼玉大学大学院			
人文社会科学部			
文化環境専攻(M)	20	-	40
国際日本アジア専攻(M)	38	-	76
経済経営専攻(M)	22	-	44
日本アジア文化専攻(D)	4	-	12
経済経営専攻(D)	12	-	36
教育学部			
教職実践専攻(P)	52	-	104
理工学研究科			
生命科学専攻(M)	55	-	110
物質科学専攻(M)	114	-	228
数理電子情報専攻(M)	142	-	284
機械科学専攻(M)	70	-	140
環境社会基盤専攻(M)	55	-	110
理工学専攻(D)	56	-	168
計	640	-	1,352

埼玉大学			
教養学部	3年次		
教養学科	<u>200</u>	30	<u>860</u> 定員変更(40)
経済学部	3年次		
経済学科(昼間コース)	280	10	1,140
経済学科(夜間主コース)	15	-	60
教育学部			
学校教育教員養成課程	<u>300</u>	-	<u>1,200</u> 定員変更(△60)
養護教諭養成課程	20	-	80
理学部			
数学科	40	-	160
物理学科	40	-	160
基礎化学科	50	-	200
分子生物学科	40	-	160
生体制御学科	40	-	160
工学部			
機械工学・システムデザイン学科	<u>117</u>	-	<u>468</u> 定員変更(7)
電気電子物理工学科	<u>117</u>	-	<u>468</u> 定員変更(7)
情報工学科	<u>86</u>	-	<u>344</u> 定員変更(6)
応用化学科	90	-	360
環境社会デザイン学科	100	-	400
計	1,535	40	6,220
埼玉大学大学院			
人文社会科学部			
文化環境専攻(M)	<u>17</u>	-	<u>34</u> 定員変更(△3)
国際日本アジア専攻(M)	<u>34</u>	-	<u>68</u> 定員変更(△4)
経済経営専攻(M)	<u>19</u>	-	<u>38</u> 定員変更(△3)
ダイバーシティ科学専攻(M)	<u>10</u>	-	<u>20</u> 研究科の専攻の設置(意見伺い)
日本アジア文化専攻(D)	4	-	12
経済経営専攻(D)	12	-	36
教育学部			
教職実践専攻(P)	52	-	104
理工学研究科			
生命科学専攻(M)	55	-	110
物質科学専攻(M)	114	-	228
数理電子情報専攻(M)	142	-	284
機械科学専攻(M)	70	-	140
環境社会基盤専攻(M)	55	-	110
理工学専攻(D)	56	-	168
計	640	-	1,352

教 育 課 程 等 の 概 要																
(人文社会科学研究科ダイバーシティ科学専攻)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
共通理論科目	現代の課題と人権	1①～②		1				○		3	3					共同
	インターセクショナルリティ論	1①～②		1				○		1						メディア
	ケア論	1①～②		1				○			1					メディア
	クィア理論	1①～②		1				○		1						メディア
	社会運動論	1①～②		1				○						1		メディア
	障害学	1①～②		1				○			1					メディア
	多文化共生論	1①～②		1				○						1		メディア
	小計（7科目）	－	－	7	0	0	－			3	3	0	0	0	2	－
基盤課題科目	社会正義と排除と政治論	1①～②			2			○			1					オムニバス・共同（一部）
	多様性教育論	1①～②			2			○		2						
	社会福祉とウェルビーイング	1①～②			2			○			1					1
	科学技術と人間	1①～②			2			○								
	ダイバーシティマネジメント論	1③～④			2			○				1				1
	防災・災害学とグローバルジャスティス	1③～④			2			○				1				
	生物多様性とネイチャーポジティブ	1③～④			2			○							1	隔年
	文化とアイデンティティ	1・2③～④			2				○						1	
	フェミニスト経済学	1・2③～④			2				○						1	メディア
	労働とジェンダー	1・2③～④			2				○						1	メディア
	平等／差別と法	1③～④			2				○						1	隔年
	小計（11科目）	－	－	0	22	0	－			2	3	0	0	0	5	－
調査スキル	社会調査法A（社会調査）	1③～④			1			○							1	メディア
	社会調査法B（統計）	1③～④			1			○			1					メディア
	社会調査法C（フィールド調査）	1③～④			1			○		1						メディア
	小計（3科目）	－	－	0	3	0	－			1	1	0	0	0	1	－
専門課題科目	ダイバーシティ政策科学Ⅰ	2①～②			2				○			2				共同
	ダイバーシティ政策科学Ⅱ	2③～④			2				○			2				共同
	ダイバーシティ人間形成論Ⅰ	2①～②			2				○		2					オムニバス・共同（一部）
	ダイバーシティ人間形成論Ⅱ	2③～④			2				○		2					オムニバス・共同（一部）
	ダイバーシティイノベーションⅠ	2①～②			2				○						2	オムニバス、メディア
	ダイバーシティイノベーションⅡ	2③～④			2				○						1	メディア
	ダイバーシティリーダーシップ論Ⅰ	2①～②			2				○		1	1				共同
	ダイバーシティリーダーシップ論Ⅱ	2③～④			2				○		1	1				共同
	バイオダイバーシティ論Ⅰ	2①～②			2				○						1	
	バイオダイバーシティ論Ⅱ	2③～④			2				○						1	
小計（10科目）	－	－	0	20	0	－			3	3	0	0	0	3	－	
課題研究科目	課題研究演習Ⅰ	1①～②		2					○		3	3			1	共同
	課題研究演習Ⅱ	1③～④		2					○		3	3			1	共同
	課題研究演習Ⅲ	2①～②		2					○		3	3			1	共同
	課題研究演習Ⅳ	2③～④		2					○		3	3			1	共同
	小計（4科目）	－	－	8	0	0	－			3	3	0	0	0	1	－
合計（35科目）		－	－	15	45	0	－			3	3	0	0	0	7	－
学位又は称号		修士（ダイバーシティ科学）			学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係							
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等						
（修了要件） 2年以上在学し、30単位以上、かつ科目区分ごとの修了要件単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、「修士学位論文」または「特定の課題についての研究の成果」の審査および最終試験に合格すること。 （科目区分ごとの修了要件単位数） ・共通理論科目：7単位 ・基盤課題科目：6単位以上 ・調査スキル科目：1単位以上 ・専門課題科目：8単位以上（①同じ科目のⅠ・Ⅱ（各2単位）から4単位を修得すること。②「①」以外の科目から4単位以上を修得すること。 なお、教育上有益と認める場合に限り、他専攻・他研究科の科目を4単位まで含めることができる。） ・課題研究科目：8単位										1学年の学期区分			4期			
										1学期の授業期間			8週			
										1時限の授業の標準時間			90分			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 6 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 8 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 9 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要																
(教養学部教養学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
教養・スキル・リテラシー科目群	英語 I (General English Skills 1a)	1①			1		○				2				16	
	英語 I (General English Skills 1b)	1②			1		○				2				16	
	英語 I (General English Skills 1c)	1③			1		○				2				16	
	英語 I (Japanese Studies in Global Contexts)	1④			1		○				1				4	
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・②			1		○				3				1	
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1③・④			1		○				3				1	
	英語 I (Academic Essey Writing 1a)	1①・②			1		○			1					3	
	英語 I (Academic Essey Writing 1b)	1③・④			1		○			1					3	
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・②			1		○			1	1				4	
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1③・④			1		○				2				4	
	英語 I (Basic English 1a)	1①・③			1		○								1	
	英語 I (Basic English 1b)	1②・④			1		○								1	
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①			1		○								16	
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②			1		○								16	
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③			1		○								16	
	英語 II (Global Studies and Sustainability: The SDG Approach)	2④			1		○				1					
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①・②			1		○				3				1	
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2③・④			1		○				3				1	
	英語 II (Academic Essey Writing 2a)	2①・②			1		○				1					
	英語 II (Academic Essey Writing 2b)	2③・④			1		○				1					
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③			1		○				3					
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④			1		○				3					
	英語 II (Basic English 2a)	2①・③			1		○			1					1	
	英語 II (Basic English 2b)	2②・④			1		○			1					1	
	小計 (24科目)	—	—	0	24	0	—	—	—	2	4	0	0	0	16	—
外国語科目群	ドイツ語 I a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								3	
	ドイツ語 I b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								3	
	ドイツ語 I a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○			1					2	
	ドイツ語 I b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○			1					2	
	ドイツ語 II a (講読)	2・3・4①～②			1		○			1						隔年
	ドイツ語 II b (講読)	2・3・4③～④			1		○			1						隔年
	ドイツ語 II a (表現)	2・3・4①～②			1		○			1						隔年
	ドイツ語 II b (表現)	2・3・4③～④			1		○			1						隔年
	フランス語 I a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								3	
	フランス語 I b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								3	
	フランス語 I a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○								3	
	フランス語 I b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○								3	
	フランス語 II a (講読)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	フランス語 II b (講読)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	フランス語 II a (表現)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	フランス語 II b (表現)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	中国語 I a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								4	
	中国語 I b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								4	
	中国語 I a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○				1				4	
	中国語 I b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○				1				4	
	中国語 II a (講読)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	中国語 II b (講読)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	中国語 II a (表現)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	中国語 II b (表現)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	ロシア語 I a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								1	
	ロシア語 I b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								1	
	ロシア語 I a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○								1	
	ロシア語 I b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○								1	
	ロシア語 II a (講読)	2・3・4①～②			1		○			1						隔年
	ロシア語 II b (講読)	2・3・4③～④			1		○			1						隔年
	ロシア語 II a (表現)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年

	ロシア語Ⅱ b (表現)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	韓国語Ⅰ a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								3	
	韓国語Ⅰ b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								3	
	韓国語Ⅰ a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○			1					2	
	韓国語Ⅰ b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○			1					2	
	韓国語Ⅱ a (講読)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	韓国語Ⅱ b (講読)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	韓国語Ⅱ a (表現)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	韓国語Ⅱ b (表現)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	イタリア語Ⅰ a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								1	
	イタリア語Ⅰ b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								1	
	イタリア語Ⅰ a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○								1	
	イタリア語Ⅰ b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○								1	
	イタリア語Ⅱ a (講読)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	イタリア語Ⅱ b (講読)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	イタリア語Ⅱ a (表現)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	イタリア語Ⅱ b (表現)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	スペイン語Ⅰ a (文法)	1・2・3・4①～②			1		○								2	
	スペイン語Ⅰ b (文法)	1・2・3・4③～④			1		○								2	
	スペイン語Ⅰ a (運用)	1・2・3・4①～②			1		○								2	
	スペイン語Ⅰ b (運用)	1・2・3・4③～④			1		○								2	
	スペイン語Ⅱ a (講読)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	スペイン語Ⅱ b (講読)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	スペイン語Ⅱ a (表現)	2・3・4①～②			1		○								1	隔年
	スペイン語Ⅱ b (表現)	2・3・4③～④			1		○								1	隔年
	日本語Ⅰ a (読解)	1・2・3・4①～②			1		○			1	1					
	日本語Ⅰ b (読解)	1・2・3・4③～④			1		○			1	1					
	日本語Ⅰ a (作文)	1・2・3・4①～②			1		○			1	1					
	日本語Ⅰ b (作文)	1・2・3・4③～④			1		○			1	1					
	日本語Ⅱ a (聴解)	2・3・4①～②			1		○			1	1					
	日本語Ⅱ b (聴解)	2・3・4③～④			1		○			1	1					
	日本語Ⅱ a (文章作成)	2・3・4①～②			1		○			1	1					
	日本語Ⅱ b (文章作成)	2・3・4③～④			1		○			1	1					
	小計 (64科目)	—	—	0	64	0	—			4	4	0	0	0	24	—
社会科学科目群	政治学概説	1・2③・④			2		○								1	
	国際関係論概説	1・2③・④			2		○								1	
	開発協力概論	1・2②			2		○								1	
	開発と援助の潮流	1・2④			2		○			1						
	法学概説	1・2①・②・③			2		○				1				2	
	市民と憲法	1・2①・②・③・④			2		○								4	
	経済学概説	1・2②・④			2		○			1					1	
	経営学概説	1・2①・③			2		○								1	
	会計学概説	1・2②・③			2		○				1				1	
	地理学概説	1・2④			2		○				1				1	
	社会学概説	1・2①・②			2		○								1	メディア
	心理学入門	1・2①・②・③			2		○								2	メディア・オムニバス
	現代教育論	1・2②・③			2		○				1				1	
	現代発達科学入門	1・2①・②			2		○			1						メディア
教育臨床学入門	1・2①・②			2		○				1						
統計学入門	1・2③・④			2		○								1		
	小計 (16科目)	—	—	0	32	0	—			3	5	0	0	0	17	—
自然科学科目群	教養数学Ⅰ	1・2③			2		○								1	
	教養数学Ⅱ	1・2④			2		○								1	
	教養物理学	1・2③			2		○				1					
	教養化学	1・2③			2		○					1				
	教養分子生物学	1・2④			2		○								1	
	教養生物学	1・2②			2		○								2	オムニバス
	科学で探る地球	1・2①			2		○			1						
	工学と社会 (機械工学系)	1・2①・③			2		○				1					
	工学と社会 (電気電子物理工学系)	1・2②・③			2		○			2						
	工学と社会 (情報系)	1・2②			2		○			1						
	工学と社会 (応用化学系)	1・2②・④			2		○				1					
	工学と社会 (環境社会デザイン系)	1・2①・③			2		○			1						
	生活と技術	1・2③			2		○			1						
	精神保健学	1・2③			2		○			1	1					
	健康科学	1・2④			2		○								1	

	小計（15科目）	—	—	0	30	0	—	—	—	7	4	1	0	0	5	—
学 際 領 域 科 目 群	スポーツ実技 a	1・2①～②			1				○						8	集中 オムニバス
	スポーツ実技 b	1・2③～④			1				○						8	
	地域創生を考える a	1・2③			1		○			1						
	地域創生を考える b	1・2④			1		○									
	プログラミング入門	1・2①・②			1		○				1					
	SDG s の基礎知識	1・2②			1		○				1					
	特別講義	1・2①・②			1		○								1	
	ジェンダー論入門	1・2②・④			2		○				1					
	ダイバーシティ論入門	1・2③			2		○				1					
	農学入門	1・2②・④			2		○								1	
	開発援助における環境	1・2③～④			2		○								1	
	パーソナルファイナンス論	1・2③～④			2		○								1	
	知的財産概説	1・2③～④			2		○								1	
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1・2③			2		○								1	
	NGO と出会う	1・2①～②			2		○								1	
	科学技術と出会う	1・2③			2		○								2	
	SDG s と出会う	1・2③～④			2		○				1					
	人間の〈性〉と〈生〉と〈死〉	1・2③～④			2		○			1						
	テキストマイニング入門	1・2①・③			2		○			1						
	情報処理システム入門	1・2④			2		○			1						
	フェミニスト経済学	1・2④			2		○			1						
	アントレプレナーシップ序論	1・2③～④			2		○			1						
	有機農業と自然と社会	1・2①～②			2		○								1	
	地域金融×地域創生入門	1・2①～②			2		○			1						
	小計（24科目）	—	—	0	41	0	—	—	—	5	5	0	0	0	18	
A L 科 目 群	A L 1	1・2①・②・③・④			1		○			12	8				3	
	A L 2	1・2①・②・③・④			2		○			9	6				8	
	小計（2科目）	—	—	0	3	0	—	—	—	19	14	0	0	0	11	
学 部 基 盤 科 目 群	アカデミック・スキルズ	1①～②	○	2			○			5	5					
	情報基礎	1・2①～②	○	2			○			1						
	データサイエンス入門	1・2①～②	○	1			○			1						
	小計（3科目）	—	—	5	0	0	—	—	—	7	5	0	0	0	0	
グ ロ ー バ ル ・ ガ バ ナ ン ス 専 修 課 程 専 門 科 目	基礎講義															
	国際政治学入門	1・2①～②	○	2			○			1						
	国際開発学入門	1・2①～②	○	2			○			1						
	国際関係データ分析入門	1・2①～②	○	2			○				1					
	国際政治経済学入門	1・2①～②	○	2			○			1						
	国際法学入門	1・2①～②	○	2			○								1	
	Introduction to Development Economics	1・2④	○	2			○			1						
	国際協力論入門	1・2①～②	○	2			○				1					
	小計（7科目）	—	—	4	10	0	—	—	—	4	2	0	0	0	1	
実 習 ・ 研 究 法	社会科学のリサーチ・メソッド	2①～②	○	2					○	1						隔年
	社会開発の分析手法	2①～②	○	2					○		1					隔年
	政治経済学研究法	2①	○	2					○	1						隔年
	国際関係データ分析法Ⅰ（定性的分析法）	2①～②	○	2					○		1					隔年
	国際関係データ分析法Ⅱ（定量的分析法）	2③～④	○	2					○		1					隔年
	Principles of Econometrics: Learning and Practicing	2①～②	○	2					○	1						隔年
	小計（6科目）	—	—	0	12	0	—	—	—	3	2	0	0	0	0	
語 学	Integrated English Skills (Communication) IA	2①～②	○	1			○			1						
	Integrated English Skills (Communication) IB	2③～④	○	1			○			1						
	Integrated English Skills (Writing) IIA	2①～②	○	1			○			1						
	Integrated English Skills (Writing) IIB	2③～④	○	1			○			1						
	Integrated English Skills (Reading) IIIA	3①～②	○	1			○			1						
	Integrated English Skills (Reading) IIIB	3③～④	○	1			○			1						
	小計（6科目）	—	—	0	6	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	
講 義 （ 概 論	国際政治学概論	2③～④	○	2			○			1						
	国際政治経済学概論	2③～④	○	2			○			1						
	国際法学概論	2③～④		2			○								1	
	国際協力論概論	2③～④	○	2			○				1					
	Development Economics	2③～④	○	2			○			1						
	Macroeconomics	2③～④	○	2			○			1						隔年
	Microeconomics	2③～④	○	2			○			1						隔年
	国際開発政策論	2③	○	2			○			1						
	小計（8科目）	—	—	0	16	0	—	—	—	5	1	0	0	0	1	

講義 (特論)	グローバル・ガバナンス論	3・4④	○		2		○		1						隔年
	近代国際政治史	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	現代国際政治史	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	国際安全保障論	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	アメリカ政治経済論	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	政策決定論	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	比較政治経済論	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	Advanced Topics in International Relations	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	アメリカ史概論Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1						
	アメリカ史概論Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1						
	History of US Foreign Relations	3・4③～④			2		○						1		隔年
	History of US-Japan Relations	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	比較政治学	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	国際紛争の平和的解決	3・4①～②			2		○						1		隔年
	条約法	3・4③～④			2		○						1		隔年
	開発と政治	3・4③	○		2		○		1						隔年
	地域研究	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	グローバル市民社会論	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	武力紛争法	3・4③～④			2		○						1		隔年
	国際開発フィールドワークⅠ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	国際開発フィールドワークⅡ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	Peacebuilding	3・4①～②			2		○						1		隔年
	国際貿易論	3・4①～②			2		○						1		隔年
	Development in Practice	3・4①～②			2		○						1		隔年
	開発人類学調査法	3・4①～②	○		2		○		1						
	Finance and Monetary Economics in Developing Countries	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	Contemporary International Affairs	3・4③～④			2		○						1		隔年
	Communication for Global Leaders	3・4③～④			2		○						1		隔年
	*国際政治学研究基礎Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1						
	*国際協力研究Ⅰ	3・4通	○		2		○		1						
	*国際協力研究Ⅱ	3・4通	○		2		○		1						
	*国際協力研究Ⅲ	3・4通	○		2		○		1						
	*国際協力研究Ⅳ	3・4通	○		2		○		1						
	小計（33科目）	—	—	0	66	0	—		6	3	0	0	0	7	
演習	国際政治学演習Ⅰ	3・4②	○		2		○		1						隔年
	国際政治学演習Ⅱ	3・4③	○		2		○		1						隔年
	国際政治学演習Ⅲ	3・4②	○		2		○		1						隔年
	国際政治学演習Ⅳ	3・4③	○		2		○		1						隔年
	国際政治学演習Ⅴ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	国際政治学演習Ⅵ	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	国際政治経済学演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際政治経済学演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	国際政治経済学演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際政治経済学演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	国際政治経済学演習Ⅴ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際政治経済学演習Ⅵ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	国際関係データ分析演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際関係データ分析演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	国際関係データ分析演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際関係データ分析演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	国際関係データ分析演習Ⅴ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際関係データ分析演習Ⅵ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	開発経済学演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	開発経済学演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	開発経済学演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	開発経済学演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	国際開発学演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	国際開発学演習Ⅱ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	国際開発学演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	国際開発学演習Ⅳ	3・4③	○		2		○		1						隔年
	国際協力論演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際協力論演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	国際協力論演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	国際協力論演習Ⅳ	3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	Seminar in the History of US-Japan RelationsⅠ	3・4①～②	○		2		○			1					
	Seminar in the History of US-Japan RelationsⅡ	3・4③～④	○		2		○			1					

		小計 (32科目)	—	—	0	64	0	—	—	4	3	0	0	0	0	
現代社会専修課程専門科目	基礎講義	社会学入門	1・2①～②	○	2			○			1					隔年
		地理学入門	1・2①～②	○	2			○			1					
		現代社会論	1・2③～④	○		2		○			1					
		社会心理学入門	1・2③～④			2		○							1	
		メディア論入門	1・2③～④	○		2		○			1					隔年
		文化人類学入門	1・2①～②	○		2		○		1						
		Investigating Japanese Art History via Contemporary Visual Media	1・2④	○		2		○			1					
		小計 (7科目)	—	—	4	10	0	—	—	1	5	0	0	0	1	
	実習・研究法	メディア分析法	2①～②	○		2			○		1					隔年
		社会統計学	2①～②	○		2			○			1				
		社会調査法	2①～②	○		2			○			1				
		文化人類学実習 A (文化人類学理論実習)	2①～②	○		2			○	1						
		文化人類学実習 B (文化財資料実習)	2①～②	○		2			○	1						
		地理学実習 A (地理学実習基礎)	2①～②	○		1			○		1					
		地理学実習 B (地理学実習応用)	2①～②	○		1			○		1					
		地理学実習 C (地理学野外実習 I)	3①～②	○		2			○		1					
		地理学実習 D (地理学野外実習 II)	2・3・4①～②	○		2			○		1					隔年
		フィールドワーク論 I	2・3③～④			2			○						1	
		フィールドワーク論 II	2・3③～④	○		2			○	1						
		小計 (11科目)	—	—	0	20	0	—	—	2	5	0	0	0	1	
	語学	Integrated English Skills (Communication) IA	2①～②	○		1		○		1						
		Integrated English Skills (Communication) IB	2③～④	○		1		○		1						
		Integrated English Skills (Writing) IIA	2①～②	○		1		○		1						
		Integrated English Skills (Writing) IIB	2③～④	○		1		○		1						
		Integrated English Skills (Reading) IIIA	3①～②	○		1		○		1						
		Integrated English Skills (Reading) IIIB	3③～④	○		1		○		1						
		小計 (6科目)	—	—	0	6	0	—	—	1	0	0	0	0	0	
	講義	メディアコミュニケーション概論	2①～②			2		○							1	隔年
		情報システムの社会学	2①～②			2		○							1	隔年
		情報通信技術概論	2③～④			2		○							1	隔年
		ラテンアメリカ民族誌	2①～②			2		○							1	隔年
		東南アジア民族誌	2①～②	○		2		○		1						隔年
		西アフリカ民族誌	2①～②	○		2		○		1						隔年
		ヨーロッパ民族誌	2③～④	○		2		○		1						隔年
		日本民族誌	2①～②	○		2		○		1						隔年
		ヨーロッパ地誌	2①～②	○		2		○			1					隔年
		地域環境論 I	2①～②			2		○							1	隔年
		地域環境論 II	2③～④			2		○							1	隔年
		歴史民俗学	2①～②			2		○							1	
		国際人口移動概論	2①～②	○		2		○			1					隔年
		集団の社会心理学	3③～④			2		○							1	隔年
		情報の技術とシステムの歴史	3③～④			2		○							1	隔年
		社会学特殊講義 I	3①～②	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 II	3③～④	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 III	3①～②	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 IV	3③～④	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 V	3③～④	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 VI	3①～②	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 VII	3①～②			2		○							1	隔年
		社会学特殊講義 VIII	3③～④	○		2		○			1					隔年
		社会学特殊講義 IX	3③～④			2		○							1	隔年
		社会調査方法論	3③～④	○		2		○			1					隔年
		都市研究概説	3③～④			2		○							1	隔年
		人類と社会の進化	3①～②	○		2		○		1						隔年
		考古人類学	3①～②	○		2		○		1						隔年
		宗教人類学	3①～②	○		2		○		1						隔年
		民族誌学	3①～②			2		○							1	隔年
		エスノヒストリー	3③～④	○		2		○		1						隔年
		経済人類学	3③～④	○		2		○		1						隔年
		開発人類学調査法	3①～②	○		2		○		1						
		自然地理学	3①～②			2		○			1					隔年
		地誌学	3③～④	○		2		○			1					
		東アジア地誌学	3③～④	○		2		○			1					隔年
		都市地理学	3③～④	○		2		○			1					隔年
		農村地理学	3③～④	○		2		○			1					隔年

	文化地理学	3①～②			2		○								1	隔年
	歴史地理学	3③～④			2		○								1	隔年
	Animation Studies I	3④	○		2		○				1					隔年
	Animation Studies II	3④	○		2		○				1					隔年
	*社会人類学研究Ⅰ	3・4③～④	○		2		○			1						隔年
	*社会人類学研究Ⅱ	3・4①～②	○		2		○			1						隔年
	*社会問題論研究Ⅰ	3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	*社会問題論研究Ⅱ	3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	*市民社会論研究Ⅰ	3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	*市民社会論研究Ⅱ	3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	*国際人口移動研究Ⅰ	3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	*国際人口移動研究Ⅱ	3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	*Urban Geography of Japan	3・4①	○		2		○				1					
	*Regional Geography of Japan	3・4③	○		2		○				1					
	*Colloquium in Social Geography I	3・4③～④	○		2		○				1					
	*社会地理学演習Ⅱ	3・4①～②	○		2		○				1					
	*Seminar in Contemporary Japanese Social Theory I	3・4①～②	○		2		○				1					
	*Seminar in Contemporary Japanese Social Theory II	3・4③～④	○		2		○				1					
	*The Japanese Welfare State	3・4③～④	○		2		○				1					
	*Gender and Sexuality in Japan	3・4③～④			2		○								1	
	*国際協力研究Ⅰ	2・3・4通	○		2		○			1						
	*国際協力研究Ⅱ	2・3・4通	○		2		○			1						
	*国際協力研究Ⅲ	2・3・4通	○		2		○			1						
	*国際協力研究Ⅳ	2・3・4通	○		2		○			1						
	小計（62科目）	—	—	0	124	0	—			3	7	0	0	0	11	
演習	社会学演習Ⅰ	2・3・4①～②			2		○								1	隔年
	社会学演習Ⅱ	2・3・4③～④			2		○								1	隔年
	社会学演習Ⅲ	2・3・4①～②			2		○								1	隔年
	社会学演習Ⅳ	2・3・4③～④			2		○								1	隔年
	社会学演習Ⅴ	2・3・4①～②			2		○								1	隔年
	社会学演習Ⅵ	2・3・4③～④			2		○								1	隔年
	社会学演習Ⅶ	2・3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	社会学演習Ⅷ	2・3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	社会学演習Ⅸ	2・3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	社会学演習Ⅹ	2・3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	社会学演習ⅩⅠ	2・3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	社会学演習ⅩⅡ	2・3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	社会学演習ⅩⅢ	2・3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	社会学演習ⅩⅣ	2・3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	現代社会学演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	現代社会学演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	現代社会学演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2		○				1					隔年
	現代社会学演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2		○				1					隔年
	情報システム論演習	2・3・4③～④			2		○								1	隔年
	メディアコミュニケーション演習Ⅰ	2・3・4①～②			2		○								1	隔年
	メディアコミュニケーション演習Ⅱ	2・3・4①～②			2		○								1	隔年
	メディア文化論演習Ⅰ	2・3・4③～④			2		○								1	隔年
	メディア文化論演習Ⅱ	2・3・4③～④			2		○								1	隔年
	文化人類学演習Ⅲ（民族誌研究）	2・3・4③～④	○		2		○			1						隔年
	文化人類学演習Ⅳ（文化人類学理論）	2・3・4③～④	○		2		○			1						隔年
	文化人類学演習Ⅴ（医療と社会）	2・3・4①～②	○		2		○			1						隔年
	文化人類学演習Ⅵ（開発と社会）	2・3・4①～②			2		○								1	隔年
	文化人類学総合演習Ⅰ	4①～②	○		2		○			1						
	文化人類学総合演習Ⅱ	4③～④	○		2		○			1						
	地理学総合演習Ⅰ	3①～②	○		2		○				1					
	地理学総合演習Ⅱ	3③～④	○		2		○				1					
	地理学演習Ⅰ	4①～②	○		2		○				1					
	地理学演習Ⅱ	4③～④	○		2		○				1					
	小計（33科目）	—	—	0	66	0	—			2	5	0	0	0	3	

哲学歴史専修課程専門科目	基礎講義	哲学芸術学入門	1・2①～②	○	2			○			1						
		歴史学入門	1・2③～④	○	2			○			1						
		哲学史概説A	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		哲学史概説B	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		哲学基礎A	1・2①～②	○		2		○				1					隔年
		哲学基礎B	1・2③～④	○		2		○					1				隔年
		論理学入門A	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		論理学入門B	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		言語学入門A	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		言語学入門B	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		美学概説A	1・2①～②	○		2		○			1						隔年
		芸術論概説A	1・2①～②	○		2		○				1					隔年
		芸術論史概説A	1・2③～④	○		2		○			1						隔年
		日本史概説A	1・2①～②	○		2		○			2						
		東洋史概説A	1・2①～②	○		2		○				1					
		西洋史概説A	1・2①～②	○		2		○			1						
		西洋史概説B	1・2③～④	○		2		○			1						隔年
		西洋史概説C	1・2③～④	○		2		○			1						隔年
		考古学概説	1・2①～②	○		2		○			1						
		Investigating Japanese Art History via Contemporary Visual Media	1・2④	○		2		○				1					隔年
		Pre-modern Japanese History	1・2②			2		○							1		隔年
		Modern Japanese History	1・2①～②	○		2		○				1					
		小計（22科目）	—	—	4	40	0	—			10	5	0	0	0	2	
	実習・研究法・語学	哲学実習	2③～④	○		1			○		1						隔年
		論理学実習	2④	○		1			○		1						隔年
		史科学実習A（日本史）	2③～④	○		1			○		1						
		史科学実習B（日本史）	2③	○		1			○		1						
		史科学実習C（東洋史）	2③～④	○		1			○			1					隔年
		史科学実習D（西洋史）	2②	○		1			○		1						
		史科学実習E（西洋史）	2①～②	○		1			○		1						隔年
		史科学実習F（西洋史）	2④	○		1			○		1						
		考古学実習A	2①～②	○		1			○		1						隔年
		考古学実習B	2①～②	○		1			○		1						隔年
		考古学実習C	2通	○		1			○		1						隔年
		考古学実習D	2通	○		1			○		1						隔年
		哲学研究法A	2①～②			2		○							1		隔年
		哲学研究法B	2①～②	○		2		○			1						隔年
		哲学研究法C	2①～②	○		2		○			1						隔年
		哲学研究法D	2①～②	○		2		○			1						隔年
		哲学研究法E	2③～④	○		2		○			1						隔年
		哲学研究法F	2③～④	○		2		○			1						隔年
		言語学研究法A	2③～④	○		2		○			1						隔年
		言語学研究法B	2③～④	○		2		○			1						隔年
		美学研究法A	2③～④	○		2		○			1						隔年
		美学研究法B	2①～②	○		2		○			1						隔年
		芸術論研究法A	2①～②	○		2		○				1					隔年
		芸術論研究法B	2③～④			2		○							1		隔年
		芸術論史研究法A	2①～②	○		2		○			1						隔年
		芸術論史研究法B	2③～④	○		2		○			1						隔年
		歴史学研究法A	2①～②	○		2		○			2						
		歴史学研究法B	2①～②	○		2		○				1					隔年
		歴史学研究法C	2④	○		2		○			1						隔年
		考古学研究法	2③～④	○		2		○			1						隔年
		ギリシャ語Ⅰ	2①～②	○		1		○			1						隔年
		ギリシャ語Ⅱ	2③～④	○		1		○			1						隔年
		ラテン語Ⅰ	2①～②	○		1		○				1					隔年
		ラテン語Ⅱ	2③～④	○		1		○				1					隔年
		小計（34科目）	—	—	0	52	0	—			10	3	0	0	0	2	
	講義	現代哲学Ⅰ	2・3①～②			2		○								1	隔年
		現代哲学Ⅱ	2・3①～②			2		○								1	隔年
		現代哲学Ⅲ	2・3③～④			2		○								1	隔年
		現代哲学Ⅳ	2・3①～②			2		○								1	隔年
		現代哲学Ⅴ	2・3①～②	○		2		○			1						隔年
		哲学史Ⅰ	2・3①～②			2		○								1	隔年
		哲学史Ⅱ	2・3③～④			2		○								1	隔年
		哲学史Ⅲ	2・3③～④	○		2		○			1						隔年

	哲学史Ⅳ	2・3①～②	○		2	○		1							隔年
	哲学史Ⅴ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	倫理学Ⅰ	2・3①～②			2	○						1			隔年
	倫理学Ⅱ	2・3①～②			2	○						1			隔年
	倫理学Ⅲ	2・3③～④	○		2	○			1						隔年
	音声学Ⅰ	2・3①～②	○		2	○		1							
	音声学Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							
	美学Ⅰ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	美学Ⅱ	2・3③～④			2	○		1							隔年
	美学特殊講義Ⅰ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	美学特殊講義Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	芸術論Ⅰ	2・3③～④	○		2	○			1						隔年
	芸術論Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	芸術論特殊講義Ⅰ	2・3③～④	○		2	○			1						隔年
	芸術論特殊講義Ⅱ	2・3①～②			2	○						1			隔年
	芸術論史Ⅰ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	芸術論史Ⅱ	2・3①～②			2	○						1			隔年
	芸術史Ⅰ	2・3①～②	○		2	○		1							隔年
	芸術史Ⅱ	2・3①～②	○		2	○		1							隔年
	芸術史特殊講義Ⅰ	2・3③～④			2	○						1			隔年
	芸術史特殊講義Ⅱ	2・3①～②			2	○						1			隔年
	Animation StudiesⅠ	2・3④	○		2	○			1						隔年
	Animation StudiesⅡ	2・3④	○		2	○			1						隔年
	近現代日本の政治と社会Ⅰ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	近現代日本の政治と社会Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	近世日本の社会と文化Ⅰ	2・3①～②			2	○						1			隔年
	近世日本の社会と文化Ⅱ	2・3③～④			2	○		1							隔年
	近代アジアの国家と社会Ⅰ	2・3①	○		2	○			1						隔年
	近代アジアの国家と社会Ⅱ	2・3③～④	○		2	○			1						隔年
	ヨーロッパ近代社会文化史Ⅰ	2・3①～②	○		2	○		1							隔年
	ヨーロッパ近代社会文化史Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅰ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	東アジア考古学Ⅰ	2・3①～②	○		2	○		1							隔年
	東アジア考古学Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	Worlds of the Samurai	2・3①～②			2	○						1			隔年
	Japan and the Asia-Pacific War	2・3③～④	○		2	○			1						
	History of US-Japan Relations	2・3③～④	○		2	○			1						隔年
	ドイツ語圏の歴史	2・3③～④	○		2	○		1							隔年
	アメリカ史概論Ⅰ	2・3①～②	○		2	○		1							
	アメリカ史概論Ⅱ	2・3③～④	○		2	○		1							
	歴史民俗学	2・3①～②			2	○						1			
	*哲学研究Ⅰ	3・4③～④	○		2	○		1							隔年
	*哲学研究Ⅱ	3・4①～②			2	○						1			隔年
	*論理哲学研究Ⅰ	3・4③～④	○		2	○		1							隔年
	*論理哲学研究Ⅱ	3・4④	○		2	○		1							隔年
	*埋蔵文化財インターンシップ	3・4①～②	○		2	○		1							
	*考古学研究Ⅰ	3・4①～②	○		2	○		1							隔年
	*考古学研究Ⅱ	3・4①～②	○		2	○		1							隔年
	*西洋史研究Ⅰ	3・4③～④	○		2	○		1				1			隔年
	*西洋史研究Ⅱ	3・4③～④	○		2	○		1							隔年
	*埋蔵文化財調査論Ⅰ	3・4③～④	○		2	○		1							隔年
	*埋蔵文化財調査論Ⅱ	3・4③～④	○		2	○		1							隔年
	小計（61科目）	—	—	0	122	0	—	12	5	0	0	0	13		
演習	哲学演習Ⅰ	3・4①～②			2		○						1		隔年
	哲学演習Ⅱ	3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	哲学演習Ⅲ	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	哲学演習Ⅳ	3・4③～④			2		○					1			隔年
	哲学演習Ⅴ	3・4③～④			2		○					1			隔年
	哲学演習Ⅵ	3・4①～②	○		2		○	1							隔年
	哲学演習Ⅶ	3・4③～④	○		2		○	1							隔年
	哲学演習Ⅷ	3・4①～②	○		2		○	1							隔年
	哲学演習Ⅸ	3・4③～④	○		2		○	1							隔年
	哲学演習Ⅹ	3・4①～②	○		2		○	1							隔年
	哲学演習ⅩⅠ	3・4①～②	○		2		○	1							隔年
	哲学演習ⅩⅡ	3・4③～④	○		2		○	1							隔年

哲学演習ⅩⅢ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
言語学演習Ⅰ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
言語学演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
言語学演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
言語学演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
言語学演習Ⅴ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
Language AnalysisⅠ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
Language AnalysisⅡ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
Language AnalysisⅢ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
Language AnalysisⅣ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
美学演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
美学演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
美学演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
美学演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
芸術論演習Ⅰ	3・4③～④	○		2		○		1					隔年
芸術論演習Ⅱ	3・4③～④			2		○					1		隔年
芸術論演習Ⅲ	3・4③～④			2		○					1		隔年
芸術論演習Ⅳ	3・4①～②			2		○					1		隔年
芸術論史演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
芸術論史演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and AsiaⅠ	3・4④	○		2		○		1					隔年
Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and AsiaⅡ	3・4④	○		2		○		1					隔年
Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and AsiaⅢ	3・4③～④	○		2		○		1					隔年
日本史演習Ⅰ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅴ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅵ	3・4①	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅶ	3・4④	○		2		○	1						隔年
日本史演習Ⅷ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
東洋史演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1					隔年
東洋史演習Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1					隔年
東洋史演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○		1					隔年
東洋史演習Ⅳ	3・4③～④	○		2		○		1					隔年
西洋史演習Ⅰ	3・4①	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅱ	3・4③	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅲ	3・4①	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅳ	3・4③	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅴ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅵ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅶ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
西洋史演習Ⅷ	3・4③～④	○		2		○	1						隔年
考古学演習Ⅰ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
考古学演習Ⅱ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
考古学演習Ⅲ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
考古学演習Ⅳ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
考古学演習Ⅴ	3・4①～②	○		2		○	1						隔年
Seminar in the History of US-Japan RelationsⅠ	3・4①～②	○		2		○		1					隔年
Seminar in the History of US-Japan RelationsⅡ	3・4③～④	○		2		○	1	1					隔年
The Golden Age of the Heian Court	3・4①～②			2		○						1	隔年
Gender & Family in Traditional Japan	3・4③～④			2		○						1	隔年
What is History?	3・4①～②			2		○						1	隔年
Studies in Pre-modern Japanese HistoryⅠ	3・4②			2		○						1	隔年
Studies in Pre-modern Japanese HistoryⅡ	3・4①～②			2		○						1	隔年
哲学歴史総合演習Ⅰ	3③～④	○		2		○		1					
哲学歴史総合演習Ⅱ	3③～④	○		2		○		1					
哲学歴史総合演習Ⅲ	3③～④	○		2		○		1					
小計(70科目)	—	—	0	140	0	—	11	5	0	0	0	5	

ヨーロッパ文化専修課程専門科目	基礎講義	ヨーロッパ研究入門	1・2①～②	○	2		○				1							
		アメリカ研究入門A	1・2③～④		2		○								1		隔年	
		アメリカ研究入門B	1・2①～②	○	2		○			1							隔年	
		ドイツ語圏文化概説A	1・2③～④	○	2		○		1								隔年	
		ドイツ語圏文化概説B	1・2③～④		2		○							1			隔年	
		ドイツ語圏文化史	1・2③～④	○	2		○		1								隔年	
		フランス文化概説	1・2③～④		2		○							1			隔年	
		ロシア学入門A	1・2①～②	○	2		○		1								隔年	
		ロシア学入門B	1・2③～④	○	2		○		1								隔年	
		スラブ語圏の民族と文化A	1・2③～④	○	2		○		1								隔年	
		スラブ語圏の民族と文化B	1・2③～④	○	2		○		1								隔年	
		イギリス文学史A	1・2③～④	○	2		○			1							隔年	
		イギリス文学史B	1・2③～④	○	2		○			1							隔年	
		英語学概説A	1・2①～②		2		○								1		隔年	
		英語学概説B	1・2①～②		2		○								1		隔年	
	小計（15科目）	—	—	2	28	0	—		3	1	0	0	0	5				
	語学・研究法	Integrated English Skills (Communication) IA	2①～②	○		1		○			1							
		Integrated English Skills (Communication) IB	2③～④	○		1		○			1							
		Integrated English Skills (Writing) IIA	2①～②	○		1		○			1							
		Integrated English Skills (Writing) IIB	2③～④	○		1		○			1							
		Integrated English Skills (Reading) IIIA	3①～②	○		1		○			1							
		Integrated English Skills (Reading) IIIB	3③～④	○		1		○			1							
		ドイツ語会話（初級）ⅠA	2①～②			1		○								1		
		ドイツ語会話（初級）ⅠB	2③～④			1		○								1		
ドイツ語会話（中級）ⅡA		3①～②			1		○								1		隔年	
ドイツ語会話（中級）ⅡB		3③～④			1		○								1		隔年	
ドイツ語作文ⅠA		3①～②			1		○								1		隔年	
ドイツ語作文ⅠB		3③～④			1		○								1		隔年	
フランス語会話（初級）ⅠA		2①～②			1		○								1		隔年	
フランス語会話（初級）ⅠB		2③～④			1		○								1		隔年	
フランス語会話（中級）ⅡA		3①～②			1		○								1		隔年	
フランス語会話（中級）ⅡB		3③～④			1		○								1		隔年	
フランス語作文ⅠA		2①～②			1		○								1		隔年	
フランス語作文ⅠB		2③～④			1		○								1		隔年	
フランス語作文ⅡA		3①～②			1		○								1		隔年	
フランス語作文ⅡB		3①～②			1		○								1		隔年	
ロシア語会話（初級）ⅠA		2①～②	○		1		○		1								隔年	
ロシア語会話（初級）ⅠB		2③～④	○		1		○		1								隔年	
ロシア語会話（中級）ⅡA		3③～④			1		○							1			隔年	
ロシア語会話（中級）ⅡB		3③～④			1		○							1			隔年	
ロシア語作文ⅠA		2①～②	○		1		○		1								隔年	
ロシア語作文ⅠB		2③～④	○		1		○		1								隔年	
ロシア語作文ⅡA		3①～②	○		1		○		1								隔年	
ロシア語作文ⅡB		3③～④	○		1		○		1								隔年	
ギリシャ語Ⅰ		2①～②	○		1		○		1								隔年	
ギリシャ語Ⅱ	2③～④	○		1		○		1								隔年		
ラテン語Ⅰ	2①～②	○		1		○			1							隔年		
ラテン語Ⅱ	2③～④	○		1		○			1							隔年		
言語学研究法A	2③～④	○		2		○		1								隔年		
言語学研究法B	2③～④	○		2		○		1								隔年		
小計（34科目）	—	—	0	36	0	—		4	1	0	0	0	5					
講義	芸術論史Ⅰ	2③～④	○		2		○			1							隔年	
	芸術論史Ⅱ	2①～②			2		○							1		隔年		
	ドイツ語圏の文学Ⅰ	2①～②			2		○							1		隔年		
	ドイツ語圏の文学Ⅱ	2③～④			2		○							1		隔年		
	ドイツ語圏の芸術Ⅰ	2③～④	○		2		○		1							隔年		
	ドイツ語圏の芸術Ⅱ	2③～④	○		2		○		1							隔年		
	ドイツ語圏の音楽Ⅰ	2①～②	○		2		○		1							隔年		
	ドイツ語圏の音楽Ⅱ	2①～②	○		2		○		1							隔年		
	ドイツ語圏の歴史	2③～④			2		○		1							隔年		
	ドイツ語圏文化の背景Ⅰ	2③～④			2		○							1		隔年		
	ドイツ語圏文化の背景Ⅱ	2③～④			2		○							1		隔年		
	ドイツ語圏現代事情Ⅰ	2③～④			2		○							1		隔年		
	ドイツ語圏現代事情Ⅱ	2③～④			2		○							1		隔年		
	フランスの文学Ⅰ	2③～④			2		○							1		隔年		
	フランスの文学Ⅱ	2①～②			2		○							1		隔年		

	フランスの文化	2①～②			2		○								1	隔年
	フランスの社会	2③～④			2		○								1	隔年
	ロシアの文学Ⅰ	2①～②	○		2		○		1							隔年
	ロシアの文学Ⅱ	2③～④	○		2		○		1							隔年
	スラブの歴史Ⅰ	2①～②	○		2		○		1							隔年
	スラブの歴史Ⅱ	2③～④			2		○							1		隔年
	スラブの芸術Ⅰ	2①～②			2		○							1		隔年
	スラブの芸術Ⅱ	2③～④			2		○							1		隔年
	ロシア事情Ⅰ	2①～②			2		○							1		隔年
	ロシア事情Ⅱ	2③～④			2		○							1		隔年
	British StudiesⅠ	2①～②	○		2		○		1							
	British StudiesⅡ	2③～④	○		2		○		1							
	ヨーロッパ地誌	2①～②	○		2		○			1						
	アメリカ史概論Ⅰ	2①～②	○		2		○		1							
	アメリカ史概論Ⅱ	2③～④	○		2		○		1							
	アメリカ文学概論	2①～②			2		○							1		
	アメリカ社会概論	2①～②	○		2		○			1						
	アメリカ政治経済論	2③～④	○		2		○		1							隔年
	History of US Foreign Relations	2③～④			2		○							1		隔年
	History of US-Japan Relations	2③～④	○		2		○			1						隔年
	近代国際政治史	2①～②	○		2		○		1							隔年
	現代国際政治史	2③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅲ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅳ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅴ	3・4①～②	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅵ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅶ	3・4①～②			2		○							1		隔年
	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅷ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	フランス文学特殊講義Ⅰ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	フランス文学特殊講義Ⅱ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	フランス思想特殊講義Ⅰ	3・4①～②			2		○							1		隔年
	フランス思想特殊講義Ⅱ	3・4①～②			2		○							1		隔年
	フランス社会特殊講義	3・4③～④			2		○							1		隔年
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅰ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	ヨーロッパ近現代社会史Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	ロシア文化特殊講義Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1							隔年
	ロシア文化特殊講義Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	スラブ世界と日本Ⅰ	3・4①～②			2		○							1		隔年
	スラブ世界と日本Ⅱ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	ユーラシア研究特殊講義	3・4③～④			2		○							1		隔年
	イギリス文化特殊講義Ⅰ	3・4①～②	○		2		○			1						隔年
	イギリス文化特殊講義Ⅱ	3・4③～④	○		2		○			1						隔年
	イギリス文化特殊講義Ⅲ	3・4①～②	○		2		○			1						隔年
	イギリス文化特殊講義Ⅳ	3・4③～④	○		2		○			1						隔年
	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅰ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅱ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅲ	3・4①～②			2		○							1		隔年
	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅳ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅴ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅵ	3・4③～④			2		○							1		隔年
	Animation StudiesⅠ	3・4④	○		2		○			1						隔年
	Animation StudiesⅡ	3・4④	○		2		○			1						隔年
	*欧米文学研究Ⅱ	3・4①～②	○		2		○		1							隔年
	*ロシア文学Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	*文学理論Ⅰ	3・4①～②	○		2		○		1							隔年
	*文学理論Ⅱ	3・4③～④	○		2		○		1							隔年
	小計（73科目）	—	—	0	146	0	—		8	4	0	0	0	0	14	
演習	ドイツ語圏文化演習Ⅰ	2・3①～②	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化演習Ⅱ	2・3③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化演習Ⅲ	2・3①～②			2		○							1		隔年
	ドイツ語圏文化演習Ⅳ	2・3①～②			2		○							1		隔年
	ドイツ語圏文化演習Ⅴ	2・3①～②	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化演習Ⅵ	2・3③～④	○		2		○		1							隔年
	ドイツ語圏文化演習Ⅶ	2・3①～②	○		2		○		1							隔年

		ドイツ語圏文化演習Ⅶ	2・3①～②		2		○							1	隔年
		ドイツ語圏文化演習Ⅸ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		ドイツ語圏文化演習Ⅹ	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		ドイツ語圏文化演習ⅩⅠ	2・3③～④		2		○						1		隔年
		ドイツ語圏文化演習ⅩⅡ	2・3③～④		2		○						1		隔年
		イギリス文化演習Ⅰ	2・3①～②	○	2		○			1					隔年
		イギリス文化演習Ⅱ	2・3③～④	○	2		○			1					隔年
		イギリス文化演習Ⅲ	2・3①～②	○	2		○			1					隔年
		イギリス文化演習Ⅳ	2・3①～②	○	2		○			1					隔年
		イギリス文化演習Ⅴ	2・3①～②	○	2		○			1					隔年
		イギリス文化演習Ⅵ	2・3①～②	○	2		○			1					隔年
		フランス文学演習Ⅰ	2・3③～④		2		○						1		隔年
		フランス文学演習Ⅱ	2・3①～②		2		○						1		隔年
		フランス文学演習Ⅲ	2・3③～④		2		○						1		隔年
		フランス文化演習Ⅰ	2・3③～④		2		○						1		隔年
		フランス文化演習Ⅱ	2・3①～②		2		○						1		隔年
		フランス思想演習Ⅰ	2・3③～④		2		○						1		隔年
		フランス思想演習Ⅱ	2・3①～②		2		○						1		隔年
		ロシア文学演習	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		ロシア語学演習	2・3①～②		2		○						1		隔年
		スラブ文化演習	2・3③～④		2		○						1		隔年
		Language AnalysisⅠ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		Language AnalysisⅡ	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		Language AnalysisⅢ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		Language AnalysisⅣ	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		ヨーロッパ文化演習Ⅰ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		ヨーロッパ文化演習Ⅱ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		ヨーロッパ文化演習Ⅲ	2・3①～②		2		○						1		隔年
		ヨーロッパ文化演習Ⅳ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		ヨーロッパ文化演習Ⅴ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		ヨーロッパ文化演習Ⅵ	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		アメリカ研究演習Ⅰ	2・3①～②	○	2		○		1						隔年
		アメリカ研究演習Ⅱ	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		アメリカ研究演習Ⅲ	2・3②	○	2		○			1					隔年
		アメリカ研究演習Ⅳ	2・3③～④	○	2		○			1					隔年
		アメリカ研究演習Ⅴ	2・3①～②		2		○						1		隔年
		アメリカの文化と社会演習Ⅰ	2・3①	○	2		○			1					隔年
		アメリカの文化と社会演習Ⅱ	2・3③～④	○	2		○		1						隔年
		アメリカの文化と社会演習Ⅲ	2・3②	○	2		○			1					隔年
		アメリカの文化と社会演習Ⅳ	2・3③～④	○	2		○			1					隔年
		Seminar in the History of US-Japan RelationsⅠ	2・3①～②	○	2		○			1					隔年
		Seminar in the History of US-Japan RelationsⅡ	2・3③～④	○	2		○			1					隔年
		小計（49科目）	—	—	0	98	0	—	4	3	0	0	0	8	
日本・アジア文化専修課程専門科目	基礎講義	日本・アジア文化論	1・2③～④	○	2		○			1					
		日本語学概説A	1・2①～②	○	2		○		1						
		日本語学概説B	1・2①～②	○	2		○		1						
		日本語教育学概説A	1・2①～②	○	2		○		1						隔年
		日本語教育学概説B	1・2①～②	○	2		○		1						隔年
		日本文学概説A	1・2①～②	○	2		○		1						隔年
		日本文学概説B	1・2①～②	○	2		○		1						隔年
		中国古典文化概説A	1・2①～②	○	2		○		1						
		中国古典文化概説B	1・2③～④		2		○						1		
		中国近現代文化概説	1・2①～②		2		○						1		
		韓国文化概説A	1・2①～②	○	2		○			1					隔年
		韓国文化概説B	1・2③～④	○	2		○			1					隔年
		日本史概説A	1・2①～②	○	2		○		2						
		東洋史概説A	1・2①～②	○	2		○			1					
		Investigating Japanese Art History via Contemporary Visual Media	1・2④	○	2		○			1					隔年
		Pre-modern Japanese Literature	1・2③～④	○	2		○		1						隔年
		Modern Japanese Literature	1・2①～②		2		○						1		隔年
		Pre-modern Japanese History	1・2①～②		2		○						1		隔年
		小計（18科目）	—	—	2	34	0	—	7	4	0	0	0	4	

実習・研究法	日本語教育実習Ⅰ	2・3・4通	○		1～2			○	1								
	日本語教育実習Ⅱ	2・3・4通	○		1～2			○	1								
	日本語教育実習Ⅲ	2・3・4通	○		1～2			○	1								
	日本古典研究法	1・2・3①～②	○		2		○			1							隔年
	中国古典研究法	1・2・3①～②	○		2		○		1								
	日本語学研究法	1・2・3①～②	○		2		○		1								
	日本語教育学研究法	1・2・3①～②	○		2		○		1								
	日本近現代文学研究法	1・2・3①～②	○		2		○		1								隔年
	中国近現代文化研究法	1・2・3③～④			2		○							1			
	韓国文化研究法	1・2・3①～②			2		○							1			
	歴史学研究法A	1・2・3①～②	○		2		○		2								
	歴史学研究法B	1・2・3①～②	○		2		○			1							隔年
	小計（13科目）	—	—		21～24		—		6	2	0	0	0	0	2		
語学	中国語会話Ⅰ	1・2・3③～④			1		○								1		隔年
	中国語会話Ⅱ	1・2・3③～④			1		○								1		隔年
	中国語作文Ⅰ	1・2・3③～④			1		○								1		隔年
	中国語作文Ⅱ	1・2・3③～④			1		○								1		隔年
	韓国語会話Ⅰ	1・2・3③～④			1		○								1		隔年
	韓国語会話Ⅱ	1・2・3③～④			1		○								1		隔年
	韓国語作文Ⅰ	1・2・3①～②			1		○								1		隔年
	韓国語作文Ⅱ	1・2・3①～②			1		○								1		隔年
	小計（8科目）	—	—	0	8	0	—		0	0	0	0	0	0	4		
講義	日本語の文法	2・3・4③～④			2		○								1		隔年
	日本語の歴史	2・3・4③～④	○		2		○		1								隔年
	日本古典文学史	2・3・4③～④	○		2		○		1								
	日本近現代文学史	2・3・4③～④	○		2		○		1								
	音声言語・文章表現	2・3・4③～④			2		○								1		
	中国文化の現在Ⅰ	2・3・4③～④			2		○								1		隔年
	中国文化の現在Ⅱ	2・3・4①～②			2		○								1		隔年
	日本語学特殊講義Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1								隔年
	日本語学特殊講義Ⅱ	2・3・4①～②	○		2		○		1								隔年
	日本語教育学特殊講義Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1								隔年
	日本語教育学特殊講義Ⅱ	2・3・4①～②	○		2		○		1								隔年
	日本古典特殊講義Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○			1							
	日本古典特殊講義Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○			1							
	日本近現代文学特殊講義Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1								
	日本近現代文学特殊講義Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1								
	中国古典特殊講義Ⅰ	2・3・4③～④			2		○								1		隔年
	中国古典特殊講義Ⅱ	2・3・4③～④			2		○								1		隔年
	中国近現代文化特殊講義Ⅰ	2・3・4①～②			2		○								1		隔年
	中国近現代文化特殊講義Ⅱ	2・3・4③～④			2		○								1		隔年
	中国近現代文化特殊講義Ⅲ	2・3・4①～②			2		○								1		隔年
	韓国文化特殊講義Ⅰ	2・3・4①～②			2		○								1		
	韓国文化特殊講義Ⅱ	2・3・4③～④			2		○								1		
	韓国文化特殊講義Ⅲ	2・3・4③～④	○		2		○			1					1		隔年
	音声学Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1								
	音声学Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1								
	近現代日本の政治と社会Ⅰ	2・3・4③～④	○		2		○		1								隔年
	近現代日本の政治と社会Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1								隔年
	近世日本の社会と文化Ⅰ	2・3・4①～②			2		○								1		隔年
	近世日本の社会と文化Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1								隔年
	近代アジアの国家と社会Ⅰ	2・3・4①	○		2		○			1							隔年
	近代アジアの国家と社会Ⅱ	2・3・4①～②	○		2		○			1							
	東アジア考古学Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1								隔年
	東アジア考古学Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1								隔年
	歴史民俗学	2・3・4③～④			2		○								1		
	共生のための社会言語学	2・3・4①～②			2		○								1		
	Animation StudiesⅠ	2・3・4④	○		2		○			1							隔年
	Animation StudiesⅡ	2・3・4④	○		2		○			1							隔年
	The Traditional Performing Arts in Japan	2・3・4③～④			2		○								1		隔年
	Worlds of the Samurai	2・3・4①～②			2		○								1		隔年
	*Topics in Japanese StudiesⅠ	3・4①～②			2		○								1		
	*Topics in Japanese StudiesⅡ	3・4③～④			2		○								1		
	*Colloquium in Pre-modern Japanese History	3・4①～②			2		○								1		隔年
	*Seminar in Pre-modern Japanese History	3・4③～④			2		○								1		隔年
	*Seminar in Modern Japanese History	3・4③～④	○		2		○			1							

	*Seminar in Japanese Literature and Theatre I	3・4①	○		2		○		1						隔年
	*Seminar in Japanese Literature and Theatre II	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	*Seminar in Japanese Literature and Theatre III	3・4①	○		2		○		1						隔年
	*Seminar in Japanese Literature and Theatre IV	3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	*中国近現代文化論Ⅰ	3・4①～②			2		○						1		隔年
	*中国近現代文化論Ⅱ	3・4③～④			2		○						1		隔年
	*東アジア思想	3・4①～②			2		○						1		
	中国古典原典講義	3・4③～④	○		2		○		1		1				
	韓国文学原典講読	3・4③～④	○		2		○								
	小計（53科目）	—	—	0	106	0	—		9	5	0	0	0	15	
演習	日本語学演習Ⅰ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本語学演習Ⅱ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本語学演習Ⅲ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本語学演習Ⅳ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本語学演習Ⅴ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本語学演習Ⅵ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本語教育学演習Ⅰ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本語教育学演習Ⅱ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本語教育学演習Ⅲ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本語教育学演習Ⅳ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本語教育学演習Ⅴ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本語教育学演習Ⅵ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本古典演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	日本古典演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	日本古典演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	日本古典演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	日本古典演習Ⅴ	2・3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	日本古典演習Ⅵ	2・3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	日本近世文学演習Ⅰ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本近世文学演習Ⅱ	2・3・4①	○		2		○		1						隔年
	日本近世文学演習Ⅲ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本近世文学演習Ⅳ	2・3・4①	○		2		○		1						隔年
	日本近世文学演習Ⅴ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本近世文学演習Ⅵ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本近現代文学演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本近現代文学演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本近現代文学演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本近現代文学演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本近現代文学演習Ⅴ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本近現代文学演習Ⅵ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	中国古典演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	中国古典演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	中国古典演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	中国古典演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	中国古典演習Ⅴ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	中国古典演習Ⅵ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	中国近現代文化演習Ⅰ	2・3・4①～②			2		○						1		隔年
	中国近現代文化演習Ⅱ	2・3・4③～④			2		○						1		隔年
	中国近現代文化演習Ⅲ	2・3・4①～②			2		○						1		隔年
	中国近現代文化演習Ⅳ	2・3・4③～④			2		○						1		隔年
	中国近現代文化演習Ⅴ	2・3・4①～②			2		○						1		隔年
	中国近現代文化演習Ⅵ	2・3・4③～④			2		○						1		隔年
	韓国文学演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	韓国文学演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	韓国文学演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	韓国文学演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	韓国文学演習Ⅴ	2・3・4①～②	○		2		○			1					隔年
	韓国文学演習Ⅵ	2・3・4③～④	○		2		○			1					隔年
	日本史演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅴ	2・3・4①	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅵ	2・3・4④	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅶ	2・3・4①～②	○		2		○		1						隔年
	日本史演習Ⅷ	2・3・4③～④	○		2		○		1						隔年

		東洋史演習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2			○		1					隔年
		東洋史演習Ⅱ	2・3・4③～④	○		2			○		1					隔年
		東洋史演習Ⅲ	2・3・4①～②	○		2			○		1					隔年
		東洋史演習Ⅳ	2・3・4③～④	○		2			○		1					隔年
		Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and Asia I	2・3・4④	○		2			○		1					隔年
		Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and Asia II	2・3・4④	○		2			○		1					隔年
		Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and Asia III	2・3・4③～④	○		2			○		1					隔年
		Edo Culture and the “Bad Places”	2・3・4③～④	○		2			○		1					隔年
		Justice and the Vendetta Culture in Pre-modern Japan	2・3・4③～④			2			○					1		隔年
		The Golden Age of the Heian Court	2・3・4③～④			2			○					1		隔年
		Gender & Family in Traditional Japan	2・3・4③～④			2			○					1		隔年
		What is History?	2・3・4①～②			2			○					1		隔年
		Principles of Japanese to English Translation	2・3・4③～④			2			○					1		隔年
		Studies in Pre-modern Japanese History I	2・3・4②			2			○					1		隔年
		Studies in Pre-modern Japanese History II	2・3・4①～②			2			○					1		隔年
		小計（71科目）	—	—	0	142	0		—		7	4	0	0	0	5
多文化理解科目		分裂した世界における人権	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		民族紛争問題	2・3・4①～②			2			○						1	隔年
		現代のジェンダー	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		現代の民族	2・3・4①～②			2			○						1	隔年
		比較思想	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		異文化交流史Ⅰ	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		異文化交流史Ⅱ	2・3・4①～②			2			○						1	隔年
		地中海文化圏講義	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		欧米多文化主義論	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		世界の中の日本文化	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		漢字文化圏比較論	2・3・4③～④			2			○						1	隔年
		Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	2・3・4②	○		2			○			1				
		Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	2・3・4④	○		2			○			1				
		Comparative Higher Education	2・3・4①	○		2			○			1				
		小計（14科目）	—	—	0	28	0		—		0	2	0	0	0	11
専修課程以外において開設する専門科目	地域連携科目	国際社会の理解とキャリア形成	2・3・4③～④	○		2			○		1					
		*アーツと社会	2・3・4①～②	○		2			○		1					
		*ミュージアム・エデュケーション	3・4①～②			2			○						1	隔年
		小計（3科目）	—	—	0	6	0		—		2	0	0	0	0	1
	国際共修科目	戯曲から考える日本語表現	1・2・3・4③～④	○		2			○		1					
		詩歌から考える日本語表現	2・3・4①～②	○		2			○		1					
		日本語の誤用分析	2・3・4①～②	○		2			○		1					
		日本語とX語の音声学入門	2・3・4①～②	○		2			○		1					
		日本語の習得研究入門	1・2・3・4①～②	○		2			○			1				
		*異文化コミュニケーションワークショップ	2・3・4③～④			2			○						1	
		An Introduction to Cross Cultural Research and Critical Thinking Skills for Study Abroad	1・2・3・4③～④	○		2			○			1				
		*Social Movement Studies	3・4③～④			2			○						1	
		小計（8科目）	—	—	0	16	0		—		3	2	0	0	0	2
	サマープログラム科目	Traditional and Popular Culture in Japan	2・3・4②			2			○						1	隔年
		History of Traditional Japan through Film	2・3・4②			2			○						1	隔年
		History of Japan and the Asia-Pacific War through Film	2・3・4②			2			○						1	隔年
		Contemporary Visual Art and Design in Asia and Japan	2・3・4②	○		2			○			1				
		Japanese Material Culture	2・3・4②	○		2			○			1				
		Global Agenda and International Development in the Japanese Perspective	2・3・4②			1			○						1	隔年
		Exploring the History of Urban Japan	2・3・4②	○		2			○			1				隔年
		Summer Program Special Topics in Japanese Studies I	2・3・4②			2			○						1	隔年
		Summer Program Special Topics in Japanese Studies II	2・3・4②			2			○						1	隔年
		小計（9科目）	—	—	0	17	0		—		0	3	0	0	0	5
		*文献資料調査実習Ⅰ	2・3・4①～②	○		2					1					隔年
		*文献資料調査実習Ⅱ	2・3・4①～②	○		2					1					隔年
		小計（2科目）	—	—	0	4	0		—		1	0	0	0	0	0
	インターンシップ科目	特別課外実習（インターンシップ）	3・4①～②			1～2				○						
		海外インターンシップ	2・3・4①～②			1～2				○						
		小計（2科目）	—	—	0	2～4	0		—		0	0	0	0	0	0

アカ デ ミ ッ ク 英 語 科 目	研修英語	2・3・4①～②			2～4			○									
	検定英語	2・3・4①～②			4			○									
	留学準備英語（初級）	1・2・3・4①～②			1～2			○									
	留学準備英語（中級）	1・2・3・4①～②			1～2			○									
	留学準備英語（上級）	1・2・3・4①～②			1～2			○									
	英語コミュニケーションⅠ	1・2・3①～②			1			○							1		
	英語コミュニケーションⅡ	1・2・3①～②			1			○							1		
	英語コミュニケーションⅢ	1・2・3①～②			1			○							1		
	英語コミュニケーションⅣ	1・2・3①～②			1			○							1		
小計（9科目）		—	—		13～18		—			0	0	0	0	0	1		
卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	4①～②		4				○		24	17						
	卒業研究Ⅱ	4③～④		4				○		24	17						
	小計（2科目）	—	—	8	0	0	—			24	17						
合計（929科目）		—	—	29	1653 ～ 1663	0	—			24	17				81		
学位又は称号		学士（教養）			学位又は学科の分野				文学関係								
卒 業 ・ 修 了 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等								
下記要件を満たしたうえで、教養・スキル・リテラシー科目30単位以上と専門科目90単位以上を合わせて124単位以上修得すること。 教養・スキル・リテラシー科目 英語スキル教育科目群からⅠを4単位、Ⅱを4単位、外国語科目群から一つの外国語のⅠを4単位、 英語スキル教育科目群及び外国語科目群を除く科目から18単位以上（社会科学科目群から4単位、自然科学科目群から4単位、アカデミック・スキルズ2単位、情報基礎2単位、データサイエンス入門1単位を含む）を修得すること。 専門科目 以下のとおり所属する専修課程の定める要件を満たしたうえで90単位以上修得すること。 ①グローバル・ガバナンス専修課程 基礎講義から必修4単位を含め8単位以上、実習・研究法6単位以上、講義（概論）8単位以上、講義（特論）8単位以上、演習8単位以上、多文化理解科目2単位以上、卒業研究8単位を含め60単位以上 ②現代社会専修課程 基礎講義から必修4単位を含め8単位以上、実習・研究法6単位以上、講義12単位以上、演習8単位以上、多文化理解科目2単位以上、卒業研究8単位を含め60単位以上 ③哲学歴史専修課程 基礎講義から必修4単位を含め8単位以上、実習・研究法・語学6単位以上、講義8単位以上、演習12単位以上（哲学歴史総合演習Ⅰ～Ⅲを除き10単位以上、哲学歴史総合演習Ⅰ～Ⅲから2単位以上）、多文化理解科目2単位以上、卒業研究8単位を含め60単位以上 ④ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程 基礎講義から必修2単位及び「アメリカ研究入門A」2単位又は「アメリカ研究入門B」2単位を含め8単位以上、語学・研究法6単位以上、講義10単位以上、演習10単位以上、多文化理解科目2単位以上、卒業研究8単位を含め60単位以上 ⑤日本・アジア文化専修課程 基礎講義から必修2単位を含め8単位以上、実習・研究法6単位以上、演習10単位以上、多文化理解科目2単位以上、卒業研究8単位を含め60単位以上 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））									1 学年の学期区分							4学期	
									1 学期の授業期間							8週	
									1 時限の授業の標準時間							90分	

（注）

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。

く)」と読み替えること。

- 10 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

授 業 科 目 の 概 要				
（人文社会科学研究科ダイバーシティ科学専攻）				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通理論科目	現代的課題と人権		DEI（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の視点が、現代社会における課題解決においてなぜ重要なのか、その視点によって何がもたらされるのかについての基礎的理解を深める。本科目は、他研究科・専攻の大学院生も履修可能とし、複数の研究科課程の院生が混在する学びの場を形成することで、ダイバーシティ環境の中で大学院生がそれぞれの分野領域の研究においてDEIの視点を応用できる認識と能力を培う基礎的科目となる。 （共同／1 田代美江子・2 北田佳子・3 渡辺大輔・4 瀬山紀子・5 岡村利恵・6 対馬果莉／全8回）	共同
	インターセクショナルリティ論		ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、国籍、宗教、年齢など様々な要素が交差する中で生じる権力関係の複雑性を捉え、その複雑な権力関係から生じる格差や差別、社会的分断を横断的に乗り越えようとする視点としてのインターセクショナルリティ概念を、DEI（Diversity, Equity, and Inclusion）の実現という文脈に特化して高次に理解する。インターセクショナルリティ論は、課題の複雑性・複合性をとらえるためのツールとして、ダイバーシティ研究遂行の必須の理論となるが、これまでのインターセクショナルリティ論をも批判的に理解する。	
	ケア論		私たちは、生まれてから死ぬまで、ケアの営みに生命・生活・尊厳を支えられている。しかし、ケアはかけがえのないものであると同時に、暴力や差別、歴史的不正義とも絡み合った現場で行われてきた。今日でも、ケア実践やケア関係に対する支配と不正義な構造が維持されている。 それを示す一つの事例として、激しい黒人差別が残る1960年代のアメリカ合衆国南部の家庭で働いていたヘルプと呼ばれる黒人メイドたちを描いた映画「ヘルプ 〜心がつなぐストーリー〜」（原題：The Help、アメリカ合衆国、2011）を鑑賞し、内容を分析してディスカッションする。 ダイバーシティ社会実現のためには、ケアという営みや、ケアの関係性を、支配や不正義から解き放ち、より安全な形のケア関係を支える社会的条件を整える必要がある。そのための講義ではまず、社会的・歴史的な文脈の基本をふまえて、ケアがこれまでどのように行われてきたかを理解する。ケアの倫理という考え方が、どのような軋轢やジレンマの経験の中から議論され始めたのか、特に1970年代以降のフェミニスト・ケア倫理／政治理論を取り上げながら解説する。	
	クィア理論		ジェンダー論、セクシュアリティ論を基礎におくクィア理論について、理論化の歴史、理論確立の意義、課題を確認し、クィア理論の必要性をDEI実現という文脈に特化して高次に理解を深める。また、クィア理論の視点をもって性に関する社会問題をより深く批判的に分析する知識や技能を獲得する。	
	社会運動論		これまで多くの人びとが社会運動をとおして、自らのアイデンティティの社会的承認、権利の実現、資源の分配を要求し、より公正で包摂的な社会の実現をめざしてきた。女性の解放、人種平等、性的少数者の権利など、ダイバーシティに関する多くの進展は、社会運動の成果でもある。本科目は、ダイバーシティの観点から重要な社会運動の実践例を学ぶとともに、そうした社会運動を理解し論じるために必要な社会運動論の知識を修得する。社会変革の原動力、権力と抵抗のダイナミクス、アイデンティティと連帯の形成、そして社会変革のプロセスの理解を目指す本科目は、より効果的なダイバーシティ推進戦略を策定し、より公正で包摂的な社会の実現を展望するための必須の理論科目である。	
	障害学		「障害（インペアメント／ディスアビリティ）」をめぐる既存の知を問い直し、「障害」の多様な経験をもとに、「ディスアビリティ」を生じさせる社会の構造を批判的に分析し、その理論化を重ねてきた「障害学」の成り立ちと、その理論展開、可能性を論じていく。	
	多文化共生論		多文化共生論とは、人種、国籍、性別、宗教、言語など、多様な背景を持つ人々が、互いの文化的違いを理解し、共に生きる公正な社会を構想するための理論である。多文化共生論が展開してきた経緯や、多文化をめぐる摩擦や衝突、偏見や差別、排除や同化が引き起こす諸問題について考察し、多文化共生社会を構想する基礎となる理論を学ぶ。	

基盤課題科目	社会正義と排除と政治論		この講義では、排除を社会的文脈の中でとらえ、社会正義とケアの視点から、社会変革への展望を示す。社会的排除に関する具体的な事例として、貧困、人種、障害、セクシュアル・マイノリティ、性暴力被害が重なりやすい、ホームレスであることを取り上げる。そのため関連する映像資料や文献を要所に配置している。共通理論科目で学んだ内容が、政治理論のなかでどのように位置づけられるのかを確認し、権力構造と関連づけて体系化を試みる。 第1～4回は、文献読解とディスカッションの基本を学ぶ。講義テーマに関わる基礎的な文献を読み、読書ノートにまとめることで、理論の文献読解の基礎を理解する。また、ディスカッションでは、グループの議論に貢献する力を身につける。第5回以降は、より発展的な文献に取り組む。ジェンダーと政治理論（とくに、フェミニスト・ケア倫理/政治理論）に関わる指定文献の中から文献を選び、グループで口頭発表を行う。グループ分けは、受講生の指定文献への興味関心と、組み合わせを考えながら教員が決定する。口頭発表の準備では、読書ノートと発表資料の違いや、発表者と参加者それぞれの役割について知る。各回の口頭発表では、発表と質疑応答の仕方を実践のなかで身につける。	
	多様性教育論		学校はさまざまな人種、民族、ジェンダー、セクシュアリティ、身体的・知的状況などの人々によって構成されている。これまでのインクルーシブ教育や多文化（異文化）教育、クィアペダゴジーといった理論研究の交差的な到達点を把握する。また、さまざまな教育実践を読み、ダイバーシティおよびインターセクショナリティの視点をもって分析する力を養う。それらを通してさまざまな要素、属性を重ねもつすべての人の学習経験が保障される学校や教育のあり方について検討し、多様性教育の成果と課題を DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) の実現という文脈に特化して高次に理解を深める。 (1 田代美江子/1回) 第2回講義「教育の原理」を担当 (3 渡辺大輔/9回) 第3回講義～第11回講義を担当 (上記2名共同/5回) 第1回ガイダンス、12回～15回講義	オムニバス方式・共同（一部）
	社会福祉とウェルビーイング		社会福祉政策に関わる主要な行政文書、関連する論文を読み、その時代状況を把握した上で、既存の社会福祉政策がどのような人間像や家族像を前提としてきたのかを批判的に捉え直す視点を獲得することを目指す。また、人々の抱える問題が多様化するとともに複合化し、複雑化している現在の社会状況を的確に把握するため、新たな社会課題を対象とする実践的取組や事例研究等を学修し、一人ひとりの多様な生き方、多様な関係性のあり方に公正な社会福祉政策のあり方やそれを表現していくための方策を探索する。	
	科学技術と人間		世界人口の増加に伴い人間活動が加速し、地球に大変化をもたらした。この地球史始まって以来の激動の時代、科学技術史から人新生を読み解き、未来を切り開くための知の力(リベラルアーツ)の必要性を学ぶ。科学思想史のおおまかな流れを、科学技術の黎明期から現代まで、いくつかの実例について文献資料を用いて学ぶとともに、複雑化する現代の科学・技術の現状を把握する。また、科学技術の発展に貢献した女性研究者・技術者の実績や職場環境・研究環境についても、国際比較しつつ考える。	
	ダイバーシティマネジメント論		組織の仕組みやジェンダー・ポリティクスを理解した上でダイバーシティマネジメントの歴史の変遷や多面性を確認する。インクルーシブな職場環境を創造するための戦略についても検討しそれらが組織のパフォーマンスにどのように影響するのかを各自のフィールドのケースから分析するとともに、多様な人達と協働する上で必要となる条件や障壁となる課題について考察する。	
	防災・災害学とグローバルジャスティス		気候変動や自然災害、感染症の広がりなどの近年の世界規模の環境問題に関する課題を自然科学的な側面、及び、その影響や課題についての社会科学側面から捉え、社会的公正と持続可能性をキーワードに、学問分野を横断した多角的な視点から議論できるようにすることを目指す。また、災害リスク削減の具体的取組について探求する災害・減災研究や、災害ソーシャルワーク、災害女性学などの実践知を活かした研究を踏まえ、実践的課題解決の方策を探索する。 (12 小口千明/6回) 第2回～7回授業を担当 (4 瀬山紀子/7回) 第8回～14回を担当 (上記2名共同/2回) 第1回、第15回	オムニバス方式・共同（一部）
	生物多様性とネイチャーポジティブ		生物の進化および生物間の相互作用に関する自然科学の探究活動を通じて、遺伝子の多様性・種の多様性・生態系の多様性の概念を包摂する生物多様性の本質を理解することをめざす。また、ネイチャーポジティブ実現に向けた国内外の取り組みについて文献調査ならびにフィールドワークを経て実践的に学ぶ。本講義を通じて、生物多様性に関する科学的事象について多角的に考察し、社会科学側面からダイバーシティ科学の問題点を整理・分析する能力を養う。	

	文化とアイデンティティ		宗教、ジェンダー、コロニアリズム、移民、エスニシティ、人種に関する英語の文献を読み、論点を確認・議論する。文献購読と並行して、授業で扱うテーマの中から各自の研究テーマに関する事例を特定する。その上で、各自の研究テーマに関する英語圏の学術ジャーナルや研究書を複数特定し、文献リストを作成する。同時に、期末課題に向けて分析対象となる一次資料の精査、検討も進める。さらに、先行研究を整理しながら、学術論文を執筆していく。	隔年
	フェミニスト経済学		フェミニスト経済学は1960年代以降の第2派フェミニズムの思想や理論を経済学の学問体系の内部に持ち込んで、主流派とされる新古典派経済学の体系や方法を問い直し、経済学のフェミニズムによる再概念化を図るものである。本講義ではフェミニスト経済学の理論枠組みを学んだうえで、フェミニスト経済学の視点からどのような研究が行われているのかを具体的に学ぶ。	隔年
	労働とジェンダー		日本の雇用システムについて理論的・実証的に検討することをこの授業の課題とする。またこうした日本の雇用システムを検討するにあたり、主流派経済学が想定してきた人間像そのものを問い直すことの重要性を後半では考える。	隔年
	平等／差別と法		DEIの推進において重要な課題である男女間の格差や、性自認・性的指向、障害の有無、人種・民族・国籍、年齢を理由とした差別など、平等／差別をめぐる社会的な問題は、そのほとんどが法律をめぐる問題でもある。「等しいものを等しく扱え」（平等原則）は近代法の基本原理であるが、事の性質に応じた合理的な別異取扱いまでも禁止するものではない（場合によっては、実質的平等を達成するために、別異取扱いが要請されることすらある）。この講義では、DEIの理念に基づき、多様なマイノリティに対する法的取扱いとその限界を検討する。実際に問題となった様々な具体的事例を基に、判決や学説を学ぶことで、平等／差別の問題に対する法的な観点からのアプローチを身に付ける。インクルーシブな社会を構想する上での法の役割についても考察する。	
調査スキル科目	社会調査法A（社会調査）		DEI課題の所在の明確化と社会施策等の検証の両方に、社会調査は利用できる。社会調査の目的や意義を理解し、先行研究を踏まえてDEIの課題設定や仮説の生成を学修する。次に、コロナ禍以降WEB調査を含め増加している量的調査について、調査票の設計から実査、分析まで学ぶ。その上で質的調査の特徴とデータの収集方法および実査のプロセスを理解する。最後に、DEIを意識した調査結果の公表や調査倫理について学び、有意義で倫理に則った調査のあり方を検討する。	
	社会調査法B（統計）		DEI課題を実証研究ではどのように取り扱っているのか先行研究を概観した後、社会調査を行う上で必要な統計解析手法を学び、DEIに関連した研究テーマへの具体的適用を図る。 関連領域の理論枠組みを基にして概念の操作的定義を決定し、仮説設定を行った後は、適切な調査票を設計し収集したデータをコーディングして分析可能なフォーマットへと加工する一連の作業も実習する。データ分析の基礎も踏まえた上で、社会学をはじめDEI課題を扱う研究領域で広く使用される応用分析手法についても理解を深める。	
	社会調査法C（フィールド調査）		組織やコミュニティのDEI課題の解決・改善を企図する研究において重要な役割をはたすフィールド調査について、理論的・実践的に学修する。文化人類学から誕生したエスノグラフィー調査や、現場の当事者とともに課題解決を行うアクションリサーチ等、さまざまなタイプのフィールド調査について学ぶとともに、受講者の想定するDEI課題に適した調査方法を設計し、調査の実行、データの収集、結果の分析と評価等、一連のフィールド調査方法に必須の事項を修得する。また、フィールド調査にかかる研究倫理の問題も扱い、フィールドワーカーの立場やインフォーマントとの関係づくりについても学修する。	
専門課題科目	ダイバーシティ政策科学Ⅰ		人々の抱える問題が多様化するとともに複合化し、複雑化している現在のなかで必要となる社会政策（国や地方公共団体が行う行政政策、及び市民活動、NPOなどの市民社会が行う取り組みの双方を対象とする）のあり方やその決定プロセス、評価システムのあり方を、それぞれの研究課題を対象にしながら検討していくために、多様な社会課題について触れながら、それぞれが探求する課題、フィールドを決定していく。また、課題決定の後に、先行研究についての検討を進めると同時に、調査方法についての検討を進め、個別の課題研究に進んでいく。 (共同／4 瀬山紀子・6 對馬果莉／全15回)	共同
	ダイバーシティ政策科学Ⅱ		多様な個々人の<ウェルビーイング>を探求し、実現していく社会政策について、それぞれの研究課題に沿って調査研究を進め、それによって得られた知見と、先行研究の検討から修士論文、特別研究として形にまとめていく。またその過程で、異なる課題・フィールドについての研究を提示し合い、議論を深めることで、より多角的な視点での分析を進めていく。完成した成果物をもとに発表会を行い、成果を確認すると同時に、残る課題について明確化する。 (共同／4 瀬山紀子・6 對馬果莉／全15回)	共同

ダイバーシティ人間形成論Ⅰ		複数の要素を重ねもち、さまざまな社会的影響を受け続けて成長・発達する人間に対し、その成長・発達の助成的援助をし、個を尊重した人間形成を目的とする学校教育、社会教育、家庭教育などの実践に関する先行研究をダイバーシティの視点で検討することを通して、教育実践等がもつ問題を発見し、研究課題を明確化する。研究遂行において研究課題にあった対象（フィールド）、参与観察やインタビュー、質問紙など調査方法を検討する。また調査によって得られたデータを分析する際の理論を検討する。 (1 田代美江子/2回) 第2回、3回講義 「子どもと教育の捉え方についての文献購読・議論」を担当 (3 渡辺大輔/2回) 第4回、5回講義 「子どもとダイバーシティの捉え方についての文献購読・議論」を担当 (上記2名共同/11回)	オムニバス方式・共同（一部）
ダイバーシティ人間形成論Ⅱ		研究課題に沿って調査を進め、調査によって得られた知見から、学校教育など人間形成の場がもつダイバーシティに関する問題を解決するための方策を検討する。他の学生と領域横断的な検討を重視することで、インターセクショナリティの視点からみた課題を深める。これらの調査、分析、検討を通して達成された研究課題を論文化する。発表会を設けて成果物を発表し、他領域からの批判的評価を得ることにより、研究課題の成果と残された課題を明確化する。 (3 渡辺大輔/5回) 第4回～8回講義「調査データの検討・分析」を担当 (1 田代美江子・3 渡辺大輔 共同/10回) 第1回講義「ガイダンス」 第2～3回講義「研究課題発表と調査実施に向けての議論」 第9～11回講義「先行研究を踏まえた研究成果および課題の検討」 第12～14回講義「研究発表と議論」 第15回講義「総括議論」	オムニバス方式・共同（一部）
ダイバーシティイノベーションⅠ		科学技術主導の社会変革の全体像を把握するため、科学技術社会論の基礎を学ぶとともに、テーマによって異なる問題や課題があることを認識する。その上で、こういったテーマに関心があるのか、自らの問題意識を明確にする。科学技術社会論は、従来の科学技術に対するアンチテーゼであるだけではなく、市民との協働が重視されている領域でもある。市民社会と専門家とのコラボレーションについても複数の事例を鑑み、負の遺産でもある公害や薬害にも射程を延ばす。なお、本科目は履修生の関心に合わせて講義内容を柔軟に編成し、必要に応じて課題の発表を求める。 (13 菅野摂子/13回) 第1回～7回、第11回～16回 (12 小口千明/3回) 第8回～10回	オムニバス方式
ダイバーシティイノベーションⅡ		イノベーションの意味は多岐にわたるが、ここでは革新的な技術や発想により新たな価値を生み出し社会に大きな変化をもたらす営みとする。「ダイバーシティイノベーションⅠ」を踏まえた上で、イノベーションを目指した科学技術開発とダイバーシティの関係について検討する。イノベーションはダイバーシティの結果として起こるばかりでなく、イノベーションの現場がダイバーシティを推進する場合もある。変化のスピードの速い科学技術の現場を可能な限りフィールドして、イノベーションとダイバーシティとの相互作用を捉え、論文化を進める。なお、本科目は履修生の関心に合わせて講義内容を柔軟に編成する。	
ダイバーシティリーダーシップ論Ⅰ		リーダーシップは社会のあらゆる場所に見られ変革を担う重要な要素であることを理解し、同時にリーダーシップ研究の歴史的変遷から既存のリーダーシップをクリティカルに捉えることを試みる。その上で、諸所の課題解決に有効なリーダーシップのあり方を検討する。また、単に社会事象と扱うだけではなく、個々人のリーダーシップ発達についても着目し、それぞれの研究課題においてリーダーシップという概念がどのように関与するのかについても分析する。 (共同/2 北田佳子・5 岡村利恵/全15回)	共同
ダイバーシティリーダーシップ論Ⅱ		それぞれの研究課題においてリーダーシップ概念が何を説明するのかを、アイデンティティや政治論、教育論など他の科目で既習した内容との接点を意識しながら導出する。個々の研究課題に応じた適切な調査アプローチの提案を行い、文献レビュー、論文の構造など研究課題のアウトプットに必要な知識を土台にして、研究成果を示す。最終的に研究成果がどのような社会的還元をもたらすのか、またその限界についても発表を通じて考察する。 (共同/2 北田佳子・5 岡村利恵/全15回)	共同

	バイオダイバーシティ論Ⅰ		生物多様性の概念を深く理解し、その歴史的・文化的・哲学的な側面にも焦点を当てながら、人間社会との深遠な関係性を探求する。自然科学のみならず、人文社会科学の多様な視点から生物多様性の重要性和危機を多角的に捉え、ケーススタディやグループワークを通じて、その保全における倫理的・社会的課題について考察する。生物多様性の危機がもたらす社会への影響を分析し、持続可能な社会の実現に向けたそれぞれの課題意識を明確化し、生物多様性に関する学際的な研究の基礎を築く。	
	バイオダイバーシティ論Ⅱ		各自の研究課題に対して、政策や地域連携に関する文献調査とフィールドワークを通じて得られた知見を分析し、生物多様性の保全に向けた具体的かつ実践的な課題解決策を検討する。研究過程では国際的な動向を把握し、自然資本の重要性を深く理解することで多様な視点から問題解決に取り組む。グループワークを通じて異なる研究テーマ間で議論を重ね、最終的には研究成果を発表会で共有し、残された課題とその解決可能性について考察して、得られた成果を論文にまとめる。	
課題研究科目	課題研究演習Ⅰ		受講生の主体性を重視した報告と討論を中心とした協働的な学びを展開し、それぞれの専門分野におけるDEI課題の探求・研究課題を明確にする。 (共同／1 田代美江子・2 北田佳子・3 渡辺大輔・4 瀬山紀子・5 岡村利恵・6 對馬果莉・8 荒木祐二／全15回)	共同
	課題研究演習Ⅱ		受講生の主体性を重視した報告と討論を中心とした協働的な学びを展開し、それぞれの専門分野におけるDEI研究課題を明確にし、研究計画の見直しを立てる。 (共同／1 田代美江子・2 北田佳子・3 渡辺大輔・4 瀬山紀子・5 岡村利恵・6 對馬果莉・8 荒木祐二／全15回)	共同
	課題研究演習Ⅲ		受講生の主体性を重視した報告と討論を中心とした協働的な学びを展開し、それぞれの専門分野におけるDEI研究課題に基づいた研究の進捗状況を発表・交流することで、修士論文あるいは特定課題レポート執筆への見直しを立てる。 (共同／1 田代美江子・2 北田佳子・3 渡辺大輔・4 瀬山紀子・5 岡村利恵・6 對馬果莉・8 荒木祐二／全15回)	共同
	課題研究演習Ⅳ		受講生の主体性を重視した報告と討論を中心とした協働的な学びを展開し、それぞれの専門分野における研究成果を発表・交流することで、修士論文あるいは特定課題レポートにまとめるための基盤となる活動を行う。 (共同／1 田代美江子・2 北田佳子・3 渡辺大輔・4 瀬山紀子・5 岡村利恵・6 對馬果莉・8 荒木祐二／全15回)	共同

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 4 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。